京城日報

本紙定價 壹部金參錢 壹ケ月金七拾五錢 ／ 廣告料 ／ 發行兼編輯人 奥田直毅 ／ 印刷人 小川三之介 ／ 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 ／ 電話番號 ／ 振替京城三〇〇番

七月二十六日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇支那兵一千派遣

支那政府は二十三日午後外交代表者を日本公使館に派し約一千の兵を浦鹽に送る旨通告せり（北京特電）

◇チ軍ハバロフスク攻撃

過激派軍死力を盡して戰ふ

チ軍は目下ハバロフスク攻撃中なるも防禦堅固のため困難しつゝあり若し同地陷落せば過激派はチタ以西の根據を失ふ可きに依り過激派は死力を盡して應戰しつゝあり尚目下チ軍はニコリスク方面に勢力を動き居れる爲め聯合側の出兵を俟ち大攻勢を執る可しと（哈爾賓電報）

◇チ軍前衛敵追擊

過激派スパスカヤ退却に際しオダルカの橋梁破壞せし爲め チ軍前衛は橋梁の修理完成を俟ちて北進す可く目下前衛は過激派を追擊しスパスカヤの東北十里のスヴイヤギナに達せり（哈爾賓電報）

◇老幼婦女子避難

滿洲里は益々危殆に陷り二十一日朝老幼婦女子百三十名海拉爾に避難せり（哈爾賓電報）

◇獨講和提議

西班牙を通じて非公式

アムステルダム來電＝伯林フオールウエルツ紙所報に據れば獨逸は西班牙を通じ非公式に講和提議を爲せり其條項は西歐にて非併合、非賠償主義を實行し露獨及び羅獨講和條約を依然有効とし小國の將來、植民地問題、海上航通自由承認、ジブラルタル、蘇士運河防備撤退にて尚右二箇所に石炭貯藏所設置の件は講和會議に附すと謂ふにあり（合同通信電報）

◇獨軍頑强に抵抗

獨逸後衛軍はランス、ソアソンの突出陣地に於て頑强に抵抗しつゝあるが聯合軍は全線に亙り警戒を加へつゝ前進中なり（合同通信電報）

◇墺内閣辭職原因

墺國内閣瓦解の原因は食糧缺乏による國内の動搖及び平和運動に伴ふ各工業のストライキ等にて議會の多數を制する能はず遂に總辭職を決行せる也（アムステルダム電報）

◇遣露實業團種別

米國遣露實業團は商業農業關係者の外勞働組合、基督教青年團及び赤十字團係者各種の委員より成り該團は出兵と共に成る可く速に渡航す可しと（華盛頓電報）

◇森林借欵契約取消か

吉林森林借欵反對運動徒々猛烈を極め燒打等の暴行起りつゝあり或は契約取消に至るやも知れずと（吉林電報）

◇定例閣議開會

出兵重要案協議

二十五日午前八時半より定例閣議開會各大臣並に島村軍令部長田中參謀次長鐵道院總裁等列席出兵實行に關する重要事項を協議し後海軍戰時給與令中改正の件外數件を決議し正午散會せり（東京特電）

◇出兵問題と憲政會報告書

出兵問題に對する憲政會の報告書は既に加藤總裁の査閲を經たるより一兩日中に發表の筈なり（東京特電）

◇立花師團長出發

立花第十九師團長は廿六日朝七時小安丸にて來淸同八時越後丸にて赴任の途に就けり（淸津特電）

◇國澤理事長著發

國澤滿鐵理事長一行は廿六日午後三時廿分來安同三時四十五分安東發奉天に向ふ筈（安東特電）

◎支那總統選擧

可能か不可能か

▲徐樹錚の活動 支那の大總統選擧は目睫の間に迫りつゝあり之が爲め段派の策士徐樹錚氏は先づ新國會を召集し議員を買收し以て自派指定の人物を選擧せしめんと圖り居れるが果して能く徐一等の夢想せるが如き結果を見るに至るや否や勿論大總統選擧の前提たる新國會の召集は豫定の如き成功を收むるならん現に本月二十日迄に選出されたる議員數は參議院議員百二十六名衆議院議員二百八名合計三百三十四名にして既に兩院の開會に差支なき人數に達したるのみならず今少しく人員の增加を見ば總統の選擧憲法の制定にも議員不足の憂ひを感ずる事無かる可しとの樂觀說さへ行はれる位なれども事實斯く迄に多數の議員の選出を見たるや否や頗る疑問なり假りに右の議員數は事實にして既に全數の過半數に達し居る故國會の開會は豫定の如く來月中に實現するを得べしとするも全議員三分の二の出席を要する大總統選擧は決して是れ位の議員數にて行ひ得べきに非ず蓋し新規定の國會議員數は衆議員四百二十七名參議員百六十八名合計五百九十五名にして其三分の二は三百九十七名なるに現在選出されたる議員數は僅に三百三十四名なるを以てなり

▲三分の一を得ず 尤も是れ迄に選擧を行ひたるは北方十三省と蒙、藏のみにして西南五省及び湖南、湖北、江蘇、陝西の各省は種々なる事情に因りて未だ選擧を終了せざるを以て若し此等各省の一部にして選擧を終了せば或は僅に三分の二に達するならんと雖も西南五省は主義上絕對に選擧を行はざる可く又湖南、湖北、江蘇、陝西の四省も北方政府の希望するが如く滿足に之を行ふや否や今尚頗る疑問なるを以て總統選擧に必要とすべき議員總數三分の二の出席を求むる事は容易の業に非ざる可し假りに湖南、湖北、陝西等の議員選擧にして幸ひに無事終了を告げ豫定の三分の二の出席を得とするも此等の議員は全部段派の組織せる安福俱樂部に席を有せず進步黨にも亦交通系にも席を有する有樣なれば段派指定の人物を選出する事は殆んど不可能ならん若し交通派と安福派と一致提携するとするも馮派の進步黨が依然中間に介して妨害を試みなば其結果は同一なるべし況んや梁士詒氏の率うる交通派と安福派とは最近相離反せんとする兆候あるに於てをや從つて目睫に迫りつゝある總統選擧は頗る難事にして果して能く實現し得るや否や一般に疑問とせらる。

▲不能の結果如何 而して萬一總統選擧にして不能に終らば滿期となれる現代行總統馮氏の留任を見るに至るか或は又『總統、副總統なき時は國務院總統の事務を代行す』と云ふ約法の規定に因りて現總理段祺瑞氏の一時總統代行となるや否やと云ふが如き頗る興味ある問題を惹起するに至らんと觀測せらる（北京）

◎地稅令改正と手數料

七月十七日府令を以て土地臺帳規則及び地稅令施行規則改正の結果同規則中に關係多き手數料に變更を生じたるが其の要點を摘記すれば從來一回十錢の手數料を徵し許可せられし地籍圖の閱覽は許可せざる事となり其の代用として同謄本を請求し得ることゝなり一圓葉一地番に付金三十錢並に一地番を增す每に金五錢の手數料を要し又土地臺帳閱覽は一冊一回十錢の處五錢となり土地分割申請は在來一件に付き金五十錢なりしも改正の結果分割後の一筆每に金四十錢を要することゝなり即ち一件を三筆に分割すれば從來は五十錢なりしも新規則に依れば一圓二十錢を徵收するものなり而して前記地籍圖閱覽不許可となりしも法人の府に在る略圖を府條例により手數料十錢を徵し閱覽せしむべし

◎間島警察擴張

今回間島領事警察擴張に決定し新に警部十名巡査百名を增員する事となりたるが內地にては久しく巡査補充に苦しみ到底多數の警察官を他に供給する事能はざるに依り全部朝鮮より供給する事となり目下當局に於て人選中なるが人選を終り次第總督府警部並に巡査に任命の上直ちに同地へ向はしむる筈なり

◎特定運賃廢止

滿鐵京城管理局にては雜穀及び大豆の鐵道院線內特定運賃を八月一日より廢止に付き同線行き右發送貨物にして本月末日迄に發送の見込なきものに對しては八月一日より適用すべき規定賃金にて取扱ふべしと

◎兩少將待命

陸軍少將に陞任せし龍山步兵第七十八聯隊長池內英太郞羅南野砲兵第二十五聯隊長菱田菊次郞の兩氏は待命となりたり

◎東拓と間島輕鐵

天寶銅山會社への貸附……陸軍輕鐵の使用問題

澁名寬猛、飯田延太郞氏等が日本側を代表せる日支合辦事業の間島天寶銅山會社にては過般來天寶銅山採鑛搬出並に▲間島開發の目的を以て輕便鐵道敷設の計畫を樹て既に支那側の了解を得たり該輕鐵は（一）淸津會寧間の鐵道を基點とし龍井村に至るもの（二）龍井村より局子街に達するもの（三）龍井村より天寶銅山に通ずるもの都合三線餘哩にして會社の計畫によれば機關車附輕便鐵道とする事となり居れるに付鐵道諸材料騰貴の今日總工費は約二百餘萬圓を要するものゝ如く該資金は之を東洋拓殖會社より借入るべく從來會社と交涉を繼續中なりし所最近內約略成立その一部分約一割の前渡しをなしたりとの事なり唯該輕鐵中▲局子街龍井村 線並に天寶銅山龍井村線は將來相當の線路として存續すべき見込なるも會寧より龍井村に至る線路は同方面物資集散に多大の寄與をなすべく現在に於ては經濟線として又會社の銅鑛輸送線として有利なれど唯目下鮮銀興銀朝銀三行と支那政府との間に交涉を進めつゝある吉林會寧間の鐵道借欵成立しその敷設實現せば該線は會寧龍井村を連結すべきに付從つて天寶銅山經營の輕鐵線は不用に歸すべくその生命は存外短からずやと目はるも銅山會社にては吉會線開通の場合は他の有利なる間島の輕鐵を敷設し▲吉會線 の培養線たらしむべしとの意見もあるやに聞くが要するに東洋拓殖會社にて金資金の貸用しを行ふまでには尙は時日と曲折の經過を必要とすべしとの說有力なるに似たり又天寶銅山にては右三線の敷設用軌條として昨年來不用に歸したる陸軍所管請會間五十八哩の輕鐵レールを使用したき希望を有し既に陸軍當局の承認を經たりとの說もあるが右に付東拓經理部長▲廣瀨主計監 は曰く淸會間不用輕鐵の利用問題は久しき懸案にて天寶銅山の前主計監澁名寬猛氏等より出願あり但し目下進みつゝある間島の輕鐵は機關車を附する輕便鐵道との事に付陸軍所管請會間に用ゐたる十二ポンドの手押し式輕便レールにては不足なるべしと思考す但し會社にては別方面に使用したき考へよりか頻りに貸附を要望せらるゝに付予は軍司令部の意見を目下陸軍省に申請し居り其拂下げ若くは不承認何れとも決定し居らず但し遠からず何等か決著すべし

◎鮮銀券膨脹と財界

夏枯期に入り商界は閑散期なるに拘らず朝鮮銀行券の發行高は六千三百萬圓臺を維持し猶ほ▲漸次膨脹 の傾向さへあるが銀行業者は曰く鮮銀券發行高は五月末若くは六月上旬を以て一年中の最低を示すを常とす本年も亦其例に洩れず右の時期に於て一時六千萬圓臺を割りたる事ありしが其後漸次擡頭の模樣にあり夏枯の昨今鮮銀券の發行高が昨年末大節季の最高記錄たる六千七百餘萬圓に比し僅々四百萬圓內外の縮少に過ぎざるは之を例年の例に見て聊か異なれども其の理由は財界の發展にあり少しく分解すれば第一物價の漸騰傾向にありと云ふを得べし乃ち昨冬の▲諸物價 と本年の諸物價とを比するに少數例外を除き概して二三割以上の騰貴を示し居れり又生產品の向上は結局鮮內の富力を增進し移入品消化力を大ならしめ居れるに付移入の活況は貿易統計の示せる所の如し自然各種貸出の膨脹を避くべからず從つて資金の需要を喚起し居れり第二に滿洲並に鮮內の滯貨と貸出資金の幾分固定的傾向を示せる事第三に朝鮮鐵道の前出廻り資金の需要增等を舉示するを適當とすべきか尙此の狀勢を以て進まば何等か時局の大變調に際會せざる限り今冬の▲鮮銀券 は或は一億圓臺を突破すべきか少くも一億圓に近かるべし

◇大戰の教訓

白兵戰の價値

▲國軍の編組 步騎砲工輜重と呼稱せられて各兵種共に各々其性能を具備し國軍の編組上何れの兵種と雖も其一を缺いて不可なしと云ふは非ず然れども步騎砲の三兵種の國軍編制上に於ける必要程度は時代と共に推移し必ずしも一樣ならずフレデリック大王時代に於ては所謂七年戰爭の事實に徵するも國軍の主兵は騎兵にして步兵砲兵は寧ろ從たる地位に在り編制上の割合は騎兵を主力として步兵其三分の一砲兵六分の一の配合たりしなり然るに下つてナポレオン時代に於ては步兵國軍の主力と變じ騎兵其三分の一砲兵六分の一と云ふ編組に改められしが普佛戰爭後火器の進步著るしきに連れ騎兵の活動範圍甚だしく減殺せられ最近に於ては步兵主となり騎砲兵の地位頗る昂騰し騎砲兵に步兵の三分の一を國軍の編制標準とせるに至れり然れども將來は同一程度の理想的編組は步兵を主力として砲兵其三分の一騎兵六分の一の割合に改善せらるべきか

▲大戰と騎兵 歐洲戰場に於ける戰況は殆んど步砲兵の活動のみ傳へられ騎兵の如きは全く閑卻せられたるの觀あるも必ずしも然らず現に東部戰場に於ては戰闘の初期より最後まで活動を續け獨墺騎兵の如きは講和成立後の今日に至る迄尙は戰線に殘留し現在約八師團は駐軍しつゝあり又芬蘭方面より北進せる獨軍中には約一師團の騎兵を混じ目下コーラ附近の聯合軍と相對して偵察勤務に從事しつゝあり翻へつて西部戰場に於ける騎兵の活動如何を見るに現在の如く兩軍共に牢乎として防備を施して相對峙するに至らざる以前に於ては騎兵も盛んに活動したりしが戰局の進捗に連れ戰線より敵陣地內に潛入する方法なきに至れる爲最近に於ては兩軍の騎兵は其一部を戰線に起たしめて徒步戰を行はしめ主力は戰線の後方に集團して待機の姿勢に在り將來追擊の必要ある場合は快速力を利用して戰勝の効果を大ならしむる好機を窺ひつゝあり從つて西部戰況の推移にして交戰軍一方が敵の爲に第二第三線を突破せられ大退却を餘儀なくせらるゝが如き事あるに當つては必ず騎兵集團の活躍を見るに至るべし

▲飛行機と騎兵 飛行機の發達は甚だしく騎兵の性能を限局し偵察勤務の如きは騎兵より寧ろ航空機に依るを便なりとするが如き觀を呈するに至れるが事實上に於ては決して然らず飛行機の偵察は垂直偵察なるを以て前者は廣範圍に於ける敵情地形等を大觀するに利あるも細部に亘り明瞭なる偵察を行ふを得ず之れに反し騎兵偵察は其偵察地區飛行機の如く遠距離に及び難きも所謂水平偵察に依り親しく現地に臨み近く敵情地形を精察し以て防禦陣地等を目擊し其結果を報告するものなるに因り微に亘り細を極め得る特長を有せり故に用兵の根據を決する情報の蒐集を完全ならしめんとせば以上の垂直水平兩偵察手段を併用する必要あるを以て將來と雖も騎兵の性能の一として尊重せらる、偵察が航空機に獨占せらるゝが如き事は有り得べからざるなり（某軍事通）

◎廣瀨主計監

（東拓と間島輕鐵の項參照）

◎內鮮電報遲延

二十日一時開通したる佐世保大連間海底電信線はその後通信不自由なりしが二十三日又復不通となり漸く二十四日深夜全通したり爲めに二十四二十五兩日の內鮮間電報は著しく遲延を見たり二十六七日頃より漸次平常に復すべしと遞信當局は語れり

◎練習所卒業式

警官練習所にては來る三十一日第四十七期教習生七十七名の卒業式を擧行すべし

◎新聯隊長任地

竹內前副官小出前參謀

第十九師團高級參謀より大佐に陞任したる小出三郞氏は奈良第五十三聯隊長に又軍高級副官より大佐に陞進せし竹內榮喜氏は高田步兵第五十八聯隊長に補せられたり

◎兒島中將著期

新任憲兵隊司令官兒島中將は八月六日頃著任の豫定なるが新任第十七師團長古海中將は兒島中將の著任を待ち事務引繼ぎの上同月八日頃京城出發同地に赴任すべしと

◎金久保赴任

第四十旅團長より旅順要塞司令官に榮轉せる金久保萬吉中將は廿七日午前十時龍山發列車にて赴任の途に就き龍山騎兵半個小隊は同日午前九時二十分旅團司令部前に儀仗隊として服し衛戍地所屬第四十旅團に於ける步兵若干は郵便局前に堵列し送迎すべしと

◎松川大將金剛行

前軍司令官松川敏胤大將は二十七日午前七時十八分龍山發金剛山に向け出發三十日歸京すべしと

◎立花中將歸期

北鮮の部隊巡閱の途に就きし立花師團長は小川副官大佐秋山參謀を隨へ二十六日淸津に上陸せしが同地にて大任を知るや直ちに便船にて南下せりとの報師團に達したりその歸任は二十七日午後六時三十分龍山著列車なるべし

◎閔長官一行出發

李王職長官田中（德太郞）韓相鶴兩事務官及び尹澤榮侯、尹德榮子一行十八名は金剛山見物の爲め二十六日午前七時十分南大門驛發列車にて平康に向へり

◎鈴木長官歸京

既報廿六日朝歸任の豫定なりし鈴木度支部長官は廿五日釜山に一泊廿六日朝同地出發同夜九時歸京すべし

◎關屋局長講演

二十七日午前十時より附屬普通學校に於いて目下開催中の公立普通學校教員講習會員に對し關屋局長の面同に引續きての朝鮮教育方針に就き講演ある筈

◎嘉納朝鮮銀行副總裁轉宿

天眞樓に投宿中なりし嘉納朝鮮銀行副總裁德三郞氏は都合上二十三日朝鮮ホテルに轉宿したりと

◎取消

二十五日夕刊掲載京電借入金と題する記事は事實相違に付取消す

人事消息

▲岩崎卓爾氏（鐵道局技師）二十五日附往復十日間の豫定を以て東萊金州へ出張を命ぜられ同日出發

▲鈴木坂鐵氏（土木局技師）同日附五日間の豫定にて新義州へ出張を命ぜらる

▲高石政次郞氏（總督府技師）二十四日附二日間の豫定を以て水原へ出張を命ぜらる

▲馬詰次男氏（東洋拓殖朝鮮支店長）本月一日より糧秣管理委員に任ぜられ同問題に關し東上中の處二十五日歸任

▲大山鐵二氏（咸興鐵道株式會社專務）二十六日入京朝鮮ホテルへ

▲別府大氏（光州地方法院判事）二十六日入京不知火へ

★茶前酒後★

西部戰線の聯合軍は今度こそ大いに獨軍を叩きつけて居る▲殊に佛米軍の奮闘は勇ましく佛軍が二萬米軍が一萬八千を捕虜とした▲佛軍の襲擊は方に北迅速敏捷神の如く流石は大奈翁の名を辱めぬものがあつた相な▲獨軍の其の捕虜振を見ると將校は寢たまゝ兵士は島蔘を薬入中にマンマと捕へられたと云ふ最も奇拔な處を發揮して居る▲密力味の獨逸新聞も之には二言はないと見え何時もの通り仰々しく獨み鳥と云ひ曲げて居らぬ▲新聞と云へば英國の戰報は正午迄の公報を其日の夕刊に載せて居るが何うも最新程遲りがして居ない▲一般國民も實際は戰爭には大分倦が來て居る樣にも見える▲其と反對に米國へ行くと新聞の戰爭記事などは仰々緊張し非常に高調子だ▲のみならず一般國民中には充分戰爭の氣分が漂つて居るとの事である▲殊に西部戰線の米軍の彼の奮闘功名で一層太平洋の彼方では氣を吐いて居る事だらう▲政友會の某幹事が本堂君の國民代士會の演說を評し『本堂君は今度の行賞として顧問官は間違ひあるまいと云へば▲側に居た一人が國民黨は何と云つても荒木又右衛門の仇討だから恐るゝに足らぬと云ふ▲何で又右衛門の仇討だと聞くと『何にサつまり三十六人ギリだからナア』は笑はせる▲金口煙草のエム、シー、シーは彼れはサモス島の煙草で作つたのが貨物だが▲近來は大抵で作つて大連邊で賣り捌いて居て朝鮮へも大分來て居る相な▲處が正眞のエム、シー、シー社では立腹して商標權侵害の告訴を起こすとの評判

料理の友

八月號（彩色寫眞版入）

物語 騰貴と藥物の進步 ／ 江戶時代の夏の食膳……戶川殘花 ／ 日本國民と食物問題……博士 三宅 ／ ▲刺身替りになる酢の物 ／ 盛夏の寄合に饗應す衛生料理 ／ 一人前廿五錢の家族的食會 ／ ▲新案南瓜料理 ／ ビールの一品料理 ／ 鮎と鰻の珍味料理 ／ ▲上品でお椅好な鶏料理 ／ 高座に合ふ客向料理 ／ 食慾をそゝる替り御飯 ／ 病人の食物 ／ ▲趣味ある夕飯の獻立 ／ ▲趣味ある冷奴豆腐色々 ／ 食の進む朝のお副食物八種 ／ 盛夏の卓にお惣菜十五種 ／ ▲凍菓子ミルクセーキ

一冊金廿五錢 本誌は三ケ月分前金

東京上野 大日本料理研究會

淑女畫報

八月號（口繪…漁火…新聞社之助 （二色））

特色ある報道の目要

伏見宮女王殿下と御成婚記念 ／ 文秀女王の和歌 ／ 大正婦人會の總會と幹部の婦人 ／ 藤田男の謠曲 ／ 表彰された女流教育家 ／ 大事小事 ／ 史譚 武士の妻……沼田頼輔 ／ 一乘寺の女 ／ 毛利公邸 ／ 白縫姬……鈴木鼓村 ／ 光の門 ／ 義民の淚

定價金卅五錢 郵稅二錢 東京本町 博文館

値段改正に付謹告

主要原料益々暴騰の爲不得止今般左の通り値段改正致候何卒事情御諒察の上倍舊御愛顧希上候

◈美乳	廿五〇	壹個	貳錢上ゲ
◈同（新小瓶）	廿〇	同	壹錢上ゲ
◈純白美乳	卅〇	同	貳錢上ゲ
◈美乳クリーム	廿五〇	同	貳錢上ゲ
◈大學煉白粉	大瓶	同	參錢上ゲ
◈同	小瓶	同	貳錢上ゲ
◈大學固煉	小器	同	五錢上ゲ
◈大學粉白粉	紙包	同	壹錢上ゲ
◈大學水白粉		同	壹錢上ゲ

大學白粉 美乳 本舖 矢野芳香園

大正七年七月一日改正現行

[illegible]

「雨の晴―都の雅聲」一雨に生りて「草木」緑を増して蘇へりし今朝の雨よ！

〇子煩惱で鴉好の 宇都宮軍司令官
愛馬家で古武士の風あり 高島第十九師團長を訪ふ

朝鮮軍司令官に榮轉の宇都宮第四師團長を同官邸にお祝ひ訪問すると昨日から

▽徹夜で書類の整理に忙しい　宇都宮將軍の精力

◆徹夜同樣に 書類の整理をやつて、やつこ今朝其の始末が附いた處へ偕行社附屬小學校の片桐校長が來邸して同小學校講堂に關して或る書類の檢閲を願ふたのを繁忙中にも拘らず直に子煩惱の將軍の事こて其の細かい檢閲にかかれこれこ手間取つて午餐後午睡の眞只中こ有つて

◆折柄來邸し てゐた米高級副官對手に將軍の話を聞く副官は頻りに將軍の精力を讃め千斷つた上『何にしろ今晩は大阪ホテルこもう一箇所に宴會が有つてお別れに飲み明すこ云はれて居られたので夕刻までは徹宵痛飲の準備に午睡されて居られるのでせう閣下は子煩惱な事は有名な事だが一箇月に一度位づゝ東京から須子夫人が來阪されるこ直子供の事を尋ねられるこの

◆四月の學期 變りに二人の子供を大阪偕行社小學校から東京の同學校に轉校させた事も矢張り子煩惱から起つた事であるそれから閣下は妙なものが大好きであるそたが鴉であるこ言ふに至つては孰れも開いた口が塞がらぬ程に大阪城内の鴉こ來ては頗る獰猛なものでそれが閣下の居られる室から手に取るやうに見られる

◆夕方夕榮雲 のパッとした空に城内の大銀杏の上を無數の鴉が群をなして舞つてる大觀にはいつも閣下は歸るのを忘れたこ云つたやうな顔をして恍惚こ眺めてゐられる今度行かれる朝鮮には鴉が多數に居るこいふので閣下も滿足だらうこ言つてゐた

▽一回重傷を負て殊勳を樹てた　戰場生ひの高島將軍

同陸軍中將に陞進し伏見第十九旅團長より第十九師團長に榮轉せる高島友武將軍を旅團司令部に訪へば折柄外出中にて面會するを得ざりしが中山副官は語る閣下は

◆鹿兒島縣の 出身にて故高島鞆之助將軍の養嗣子なり明治二十一年陸軍士官學校卒業少尉に任官し二十七八年戰役には近衞第三聯隊附中尉にて出征、各地に轉戰して偉功を奏し次いで故山地大將軍の旅順包圍戰に參加して背部に貫通銃創を受けしも快復したり又三十七八年戰役には名古屋第六聯隊の大隊長こして

◆再び出征し 彼の有名なる沙河の大會戰に軍の中央部隊に屬して奮戰、二回迄も重傷を負へるに見るも如何に其武者振の雄々しかりしかを知るに足るべく之が爲め指揮せられたる大隊は感狀を受け閣下は功三級に叙せられたり爾來第八聯隊長、近衞第二

◆兩聯隊長を 經て大正三年五月少將に昇進し第十九旅團長に補せられ今回の榮轉を見るに至れる次第なり閣下は實戰の場數を多く踏みて古武士の風あり平素身を持する事極めて謹嚴趣味又廣く就中讀書は大好物にして常に内外の歷史を耽讀して治亂興亡の跡を明かにし又馬術に長じ非常なる愛馬家なり其愛馬春日は昨年大演習の砌　大元帥陛下の御覧に供し奉りたるこごあり（大阪）

〇セ軍に飛行機を
購ひ阪ろべく荒鷲獻上の爲
東上した瀨尾氏が二臺を民間で物色中

極東西伯利亞の平和回復を期して孤軍能く過激派こ獨墺俘虜こを向ふに、滿洲里の曠野に馳驅して居るセミヨノフ將軍から、我東宮殿下に獻上の鷲を捧持して上京した瀨尾榮太郎氏は鷲の外にも種々の要件を帶て來て居る、中でも

◆飛行機購入 の役目の如きはその急要のものであるらしい、聞く處に依れば、獨墺俘虜軍にも又過激派軍にも數臺の飛行機がある、之等は何れも歐露から輸送したものらしく間斷なくセ軍の上空に飛來して偵察又は

◆爆彈の投下 をするがセ軍に飛行機の準備のない事を知つて居るので、人も無げに悠々緩々こ活動し時には低い處まで降りて來る、セ軍は之を非常に憤慨して居る且爲に屢々不利に陷り作戰上に多大なる齟齬を生ずるこごがあるので茲に飛行機の

◆襲來を防ぐ には飛行機を以てすべしこ云ふ原理に基き日本から飛行機二臺を購入一切の事を依託するに至つたのであるさうだ、瀨尾氏は二十三日陸軍省に出頭して二臺の飛行機讓與の交渉をしたが當局にては讓與する餘裕がないので謝絶したそこで目下

◆民間に於て 製作工場を有する岸博士經營の府下赤羽飛行機製作工場を訪問して交渉、原兩技師、井上飛行機主任こ交渉し一方群馬縣下太田町中島海軍大尉の飛行機製作工場、其の外民間飛行家で

◆百二十馬力 以上の發動機を有して居る飛行機の所有者を物色し各方面に向つて交渉して居るこの事である

〇良子女王の御守り刀
刀匠森岡氏に鍛冶の御用命

未來の皇后陛下こならせらるゝ事に御治定の久邇宮の第一王女良子女王殿下の御爲めに今回特に守り刀を新に打たしめらるゝ事になり北御用を大阪の月山翁に次で東京に於ける刀劍鍛冶の名手森岡正次こ云ふ人が仰付かつた此の御守り刀を打たしめらるゝ事になつた其譯は皇太子には壺切の御劍を　陛下からお傍へになる現に澄宮殿下の如きも日光なり葉山なりへお成りの時は必ず赤錦の袋に納められた御守り

◇刀を袋 のまゝ後から一人の侍女が恭しく捧げてこれに從ふのである此のやうに各内親王方にても皆それぞれ御父　陛下より下し置かれたる御守り刀を常に御身邊に持たせらるゝ、斯樣の譯合ひから良子女王殿下にも特に大切な御身の守りこして當代の名工に特に新に一口を打たしめらるゝ事になつたのであるこ

〇文士畫家學者實業家が寄つて能る紳士相撲
江見水蔭小杉未醒氏が中心こなつて來月下旬第一回を開催するこ蒙い意氣組み

こも國民に小規模に手つ取早く運動本來の大目的を達成して我も人も十二分に其趣味に浸り得る相撲は日本々來の

◆國技こ して精神上にも體育上にも日くはない一つ相撲團でも作つて大いに體育鼓吹の旗を揚げようぢやないかこ云ふ感じは隨分前から廣くの人に抱かれて居たが此共通の思想が次第々々に落合廻り合つて愈々東京紳士相撲團こ云ふのが出來上がつた而して其第一回相撲會は來る八月廿五日を以て開かれる筈だ

◆團員は 學者、醫者、辯護士、官吏、實業家、文士名士苟くも『紳士たる事を條件こす』なる資格に適する者は汎く凡ての階級に漁つて之に好角家の先輩を賛助員こして如何樣にも大々的の一團を組織する筈である無論目下團員の推薦中でまだ決定には至らないが文士には江見水蔭諸家には小杉未醒、満谷國四郎、前代議士平沼亮三氏等の諸家は極印づきこして古川甲も強い岩崎小彌太男も昔はこつて

◆奧平伯 も好きだ坪井男もやる西園寺八郎さんも鍋吹さんなんぞも何處かで土俵に上つて居たなぞこ數へ上げて居る相であるから案外多方面の名士を網羅する事になるのであらう名高い大島君こ肥大の小島法學士こは何方が強いなど、今で氣を揉む連中は是非共兩君に登場を促さうこ力んでゐる勿論學校出の勃々たる若紳士は一にも二にも此の晴の當日を待つてゐるので當日の

◆盛況は 今の處見當もつき兼る而して此の紳士相撲團は一面體育勸獎の主旨こ共に一種の社交機關にも役立ようこ言ふので毎月或は隔月に一回宛顔を合せる筈である土俵は當分例の目白の玉椿道場を以て之に宛るさうだ

〇郵便物不著 二十六日朝入港の關釜連絡船遲著入港の爲め船車の連絡を缺きたる結果二十六日夜配達せらるべき内地便は不著こなれり

◇慈善の關所―金を投ぜざればこの路通さぬこいふ國婦人（本日灯ごもし頃參照）

◎馬に乗らなきや
考があるといふ勢の
府泉君等の猛烈な勸誘に釣られて　この暑いのに呆ぷつた鮮銀の乗馬熱

鮮銀行員は事務の性質上不健康に流れ易いから運動をしなくてはこ云ふ見地より鮮銀内の乗馬熱は大したものである、先づ秘書役長の府泉君が

★幹事 格の先達こなり營業局長の吉田君、同じ流れの營業課長井上君、技師の中村君等は錚々たる乗馬黨たり、時には早朝本町通をゆるく打たして通行人を惑かす事もある、それは兎に角こして前記四君を中心こする乗馬黨は

★暑さ の加るこ共に々々メートルを上げ大連から臨時的に出浮あてある大川理事も乗馬々々こ益々しく云つて鐘紡の定連中に加へ、理事も仕儀なく貴命町通ひの仲間に入つてゐるのみならず、幹部の中でも馬に乗らねば喰ひでさうこかするこ云ふ府泉君の猛烈的勸誘に避れなくなつたのか馬に乗るのはイヤだなこか云ふてこれまで

★乗馬 連に入らないでゐる總務局長の井内君、調査局長の神村君、秘書役の不破君も八月一日から新に入會するこ云ふ評判、三島理事も此頃こうも身體の具合のよくないのは馬に乗らぬからだこ云ふので有志からず、めてゐるらしく

★總裁 も副總裁も乗馬黨にせねば承知せぬらしい勢ひこ云ふので從つて仲々乗馬熱の氣焰も荒くアツト云はするでもあらう

しいこ云ふのは二十五日の朝露總裁はある用で朝鮮ホテルに行き序でに幹部の八九名と朝食をとつたがそこに乘ちがへりの吉田飯泉、上中村と云ふ猛者連も加はる事となつた、それまでは好いけれど、何しろ暑いのに馬に乘つて汗が出てヤリ切れないこあり吉田君長こ中村技師の兩君は乘馬服の下のシャツを水道の水でジャブ／＼

☆洗ひ これを絞つて着込み乍らあゝ涼しいこ澄んだなごは少々機的に近いこの評判であるが其元氣は買つてやらねばなるまい

〇玄海荒れ
高麗丸出でず　南鮮方面の暴風雨

南鮮沿岸一帶低氣壓廿五日は七百三十粍廿六日朝高麗丸への入電に據れば朝鮮海峡の低氣壓は四百三十三粍にして朝鮮の西南沿岸を進み支那東海岸に進行す可し釜山は廿五日夜來暴風にて廿六日朝出港の高麗丸は海上風波高き爲め出港見合はし棧橋に繋留し二十六日朝入港す可き德壽丸は二十五日夜下關を發せずして二十六日朝六時半出港せしにより二十六日夕釜山入港の筈なり從つて同朝發の急行は貨客の聯絡無し（釜山特電）

〇馬山暴風雨 馬山地方は二十五日より暴風雨襲來し居れり（馬山特電）

〇軍隊が動くこ言ふ風説に
騷々しい羅南

出兵問題が喧しい近頃は羅南軍隊の司令部が大變忙しい樣であるこ市民も寄るこ觸るこ出兵を口にしてゐる、〇〇部隊こいふのは羅南の事だらうなんてソワソワしてゐる者も見受ける、イヤ羅南は動かないなんて物識顔なのもある、（羅南特電）

〇高等飛行練習
二十九日より所澤航空隊で

所澤航空隊にては來る二十九日より偵察及び敵陣遂方の所謂高等飛行の練習を開始す可し（東京特電）

〇河内査問委員會開始
生存將校召致

河内爆沈査問委員は二十四日より吳鎮守府にて委員長土屋中將以下査問會を開始し正木艦長、吉富副長以下の生存將校を召集し取調中なり（吳電報）

〇腕自慢の暴漢
巡査に掴み蒐る
更科の前で蕎麥代の事から五人大立廻り

七月十六日夕刻京城集作帳場の車夫武藤喜代太平通二丁目の蕎麥屋更科支店前の路傍にて蕎麥代のここに亙更科の雇人朱宗石（二七）こ口論中突然一名の朝鮮人暴漢が其の中に割込み物をも言はず武藤の

▲胸倉を 引つ掴みて暴行を加へる所に通り掛りの内地人林某が仲に入りしに件の暴漢は又も林に喰つて蒐り同人の洋杖を叩き折れば是も更科の雇人金東球（二四）が出で、喧嘩に加はり内地人二名こ朝鮮人三名こが大道にて大喧嘩を始め林某の

▲腕時計 を叩き壞したる上心窩部を強く突き治療十日間の負傷を負はされ居れる所に附近の派出所より巡査駈つけ一同を取鎭めんこしたるに件の亂暴男は又も巡査に挑み蒐りしが遂に逮捕され一同を本町警察署に引致取調べの結果前記の暴漢は常に北米倉町の娼家附近をゴロつき廻り内地人こ見れば喧嘩を吹き懸けて

▲腕つ節 の強さを誇り居れる住所不定の金聖泰（三七）こ言ひ昨年以來暴行にて前後十回本町署に處罰されたる曲者にて同人及び朱宗石、金東球の三名は暴行傷害物毀棄こして留置取調べの上檢事局へ送られたり

〇菊五郎が新らしい物を
演るといふ噂―小山内氏に引張られて帝劇で近く
須磨子が松竹に―買はれるとか、それを某人が打毀したとか
近頃活氣づいて來た新劇壇の噂こりどり

◆鐵瀬洲を始めこの三四年來の旋蹤ぎでウンこ儲けて來たこいふ藝術座の松井須磨子は其勢ひでハウプトマンの『沈鐘』をやるさうだがそれこ同時に松竹に買はれるのだこいふ現在藝術座で光つてるのは

◆須磨子 一人で田舎廻りも其所謂ピカ一興行で押通したのだから須磨子一座の者も須磨子も別にいざこざはないのをいゝ幸ひにして身一つになつて買はれるこごに大體話が決まつたさうだ。須磨子が松竹に買はれては納まらないのが東儀鐵笛氏である、一度藝術座で別れたのが又一緒になるかららこ云ふばかりではない須磨子が松竹に入れば須磨子中心の芝居になるのは判りきつた事であるから

◆鐵笛氏 は一人ぼつちの坪内士行氏こ提携して大に示威運動をやるらしい時は九月有樂座で鐵笛士行兩氏を中心に舞臺協會から一人恐らく加藤精一氏が加はり他に岸田辰彌、三好英子

◆林千歳 等が馳參じて倉田百三氏の『出家こ其弟子』及び沙翁の『夏の夜の夢』をやるここになりさうやら物になるらしい然るにそこへ是も松竹に野心のある上山草人氏が飛出して須磨子の話に茶々を入れたのでこゝ新劇は三つ巴になつて爭つてる

◆其氣分 に捲き込まれたものか市村座の菊五郎が小山内薫氏を引つ張り出して八月一日から帝劇で大に新しい所をやらうこいふ意氣込、出し物は小山内氏の『緑の朝』こいふ叙情詩めいたものだこいふが蓋を開けて見ねば安心のならぬ

灯ともし頃

▲[illegible]似夢、[illegible]落第生[illegible]ふが明治十五年事件から正に三十六年前の今月昨日で現存者も朝鮮に居る者は僕許りになつた▲内地に居る者では前の[illegible]川上立一郎こ多田[illegible]のみで當時の僕は外務書記生、川上は月給二十圓の雇、多田は外國語學生であつた▲昨日も例年の如く僕が齋主こなつて仁川八幡公園の大神宮に祭典を擧げたが神主こ僕許りで別に參拜者もない▲若し諸方に知らすれば義理に出る者はあらざるか僕は元來誠意のない人に迷惑をかける事は大嫌ひな氣質だ當時御祓の中に當時仁川領事館に在つた久水氏云々と言ふのがあつたから毎年の事だに間違へては困る、仁川の開港反對の爲めの暴動であつたにふたら只管謝罪して居つたが世人の間違へたり記憶せぬのも無理はない、三十六年と言へば正に四昔に近く餘り古る過ぎる話だから▲さは二十四日花房事件の戰死者祭典から歸つた久水外事課長の談▲[illegible]切田太郎氏からの通信によるこ往來の眞中に大阪旗を掲げ赤十字の資金募集をするはドコまでも來阪式なりこやつだこある

◆代役で ある、引續いて九月舞臺協會の一興行は有樂座で一興行打つここになつた、何にせよ此一るこごもまだ決まつて居ないが此座も先月のやうに『結婚の前夜』なざいふ愚にもつかぬものをやらうやうでは迚も駄目だこ

〇赤十字社遣露救護團出發 露國派遣の赤十字社救護團吉賀團長一行三十六名は廿六日朝東京を發し敦賀に向ひたり一行は直に浦鹽渡航の筈なり（東京電報）

〇白米四十錢 神戸小賣相場 神戸市内の小賣白米は又もや廿四日から各等三厘宛の値上で壹の一等は遂々一升四十錢こなり同二等三十九錢五厘赤の一等は三十九錢二等三十八錢四厘四等三十七錢四厘五等三十六錢八厘こなつた

〇東京相撲打揚 東京相撲一行安東二日間の興行は大當りにて打揚廿六日午前十時四十分安東發奉天へ向ふ筈也（安東特電）

〇釜山お伽講演會 廿七日より五日間本社釜山支局主催にて廿七日より向ふ五日間各小學校其他に於て本社講演部龍山沢光氏のお伽講演を開催すべし

〇麥酒試飲會 大日本麥酒會社京城出張所出入の新聞通信雜誌記者同廣告部員の主唱にて二十五日午後七時よりカフェ、パコダにてサッポロビールの試飲會を催ほしたるが吉田同出張所長出席、同夜は暑熱甚だしかりし事こて何れも冷しビールの滿を引いて陶然こして微醺を呼び午後十時散會したり

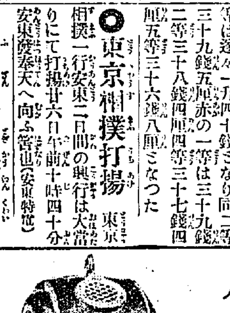
仁川期米

募集規定

北東風雨

蠅退治（ST式丙形石油乳劑）
ハイのウジとタマゴを殺し根を絶つて繁殖を防ぐ
壹打 定價二拾八錢 郵税四錢
總發賣元 熊平支店 電話長六二四番・三壹二五番 振替京城二二一番
大阪賣元
京城日報代理部 電話構内 三十八番 振替京城 三〇〇

内科 小兒科 呼吸器病 胃腸病喘息 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地電話二八八〇番
山田病院 院主 山田萬作



川北製モートル 各馬力在庫
各電氣會社に納入し常に絶大の好成績こ數量の夥多なるこごに冠たり
株式會社 川北電氣企業社（大阪 資本金參百萬圓）
小倉出張所 九州小倉市鳥町電話六八

眼科専門 入院隨意
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

優等清酒
發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話京城六五六番

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

▲パインAG三分計體溫器▼
◎四大特徴
(1)示度正確
(2)誰にも見易し
(3)感應早し
(4)決して狂はず
◎農商務省示度標準計に依る檢定證及年齡別平均體溫表添付
▲優美サック入定價壹圓五拾錢 送料 鮮内十二錢 外三十二錢
パイン檢溫器發賣元
京城大平通 京城日報社代理部 電話長六〇九番 振替京城三〇〇番

痔疾專門
入院隨意
京城明治町一丁目本町より入る中程（電話二〇二番）
京城久枝肛門病院

仁川米豆取引　二十六日の九月限

◎北支那古代文化の跡 床しき古美術
工學博士　關野貞氏談　(三)

◆古蹟も何も滅茶々々◆ ◆達磨が面壁九年の遺蹟◆

◇◇雲崗 は前申した通り石窟が砂岩石でありますから自然の破壊が多く眞に完全に殘つて居るのは其一部分に過ぎないのに反して龍門の方は凡て大理石の石窟で石質が比較的堅緻であるのであまり破壊されずに殘つて居ります然るに支那人には

◆此世界の大遺蹟を◆
◆保存する心が無い◆

ので民國三年頃より洞窟に彫刻してある多くの佛像の頭などを取れるだけ皆んな取つて外國人に賣つてしまつて今は殆んご完全の者は一つもないと云つてよい位です千數百年の間無事で來た

◇◇佛像 の頭を取つて賣つてしまふとは實に呆れた國民と云はねばならないのでありますそれで寺の坊さんや此の地方の人達が首が無くては不體裁だと云ふて今左官職に首を作らせて居りますが其の拙劣は見るに堪へないものでむしろ惡な醜惡な首がある爲めに佛像や彫刻其他の

◆立派な部分を破壊◆

してしまふのであります甚だしいのは潛溪寺の境内にある第一より第四に至る北魏隋唐時代の最も貴重なる四つの洞窟を凡て今兵隊の宿舍に利用して居り特に第四の洞窟などは炊事場になつて内に竈を築き煮炊するので佛像から壁天井まで眞黑になつて見る影もなく汚されてしまひましたそれからもう一つ

◇◇龍門 と違つて居るのは雲岡の方にはその作成の時代や作者などの名がないのに反し龍門の方には一々その造立の目的年代及び供養者の姓名までが記されてあります北魏造像銘を

◆數へるこ千以上こ◆

なります其年代は北魏東魏北齊隋唐に亘り彫刻の形式の變遷を研究する上に於て正確にして貴重な資料となつてゐるのであります茲を引き返して登封縣の

◇◇嵩山 へ參りました偃師縣で下りて四十里程南へ行くと昇仙觀といふ處に昇天太子の碑があります唐の則天武后の御製御書の碑で技工も見事で其大きさに於いても有數の大碑であります又此手前に唐の孝恭皇帝の陵がありますが崇の

◆太子で誰殺された◆

方の碑です高祖が天子の禮を以て葬り陵も天子の制度に倣ひましたから華表石馬石人石獅等の制度は唐陵墓の代表にて規模も壯大で後の宋陵の標準となつたのであります昇仙觀から分水嶺を越つて五十里にて

◇◇登封 縣に著します縣城は嵩山の南麓にありまして稍廣い平野の中央を占て居ります一體支那では五つの有名な山があつて五岳と稱して居ります即ち東嶽は泰山西嶽は華山南嶽が衡山北嶽恒山で中嶽が即ち此の嵩山であります嵩山は最も且中央を占めてゐますから特に尊敬せられて漢の武帝を始め

◆昔から登封の禮を◆

行つた皇帝は少くありません此の嵩山を又太室山と稱し普通海拔八千尺と稱してゐます別に太室山と相連なつて縣城の東北に崛起してゐる山を少室山と曰ひます此の兩山は共に花崗岩から成り太室山は臥せるが如く少室山は五峰攢まり聳へ共に奇崛雄抜の英姿を雲間にあらはして居ります嵩山の

◇◇南麓 に中嶽廟があります嵩山の神を祀つた者で規模もなかなか壯大ですが今は荒廢に瀕してゐます境内に北魏の中嶽廟碑や宋元以後の多數の石碑があります此の中嶽廟の前に石人が一對あります漢時代の者で支那に今日遺つて居る

◆最古の彫刻である◆

又其前に少しく離れて石闕が立つて居ります之れは後漢の初め第三世紀の初頭の者で其表面に人物や龍虎其他禽獸などの像が彫出されて居ります之れは石人と共に漢代に於ける

◇◇藝術 を見るべき貴重の標本でありますその中嶽廟から西に進むこ漢啓母廟の石闕があります高さは約四丈の大岩石があつて其の一方が割れて落ちて居ります之れは禹の后が石に化し啓と云ふ子が割れた處から生れたと云ふ傳説があります次に崇福宮觀亭址があります更に西に進むと嵩陽觀がある其の内に漢栢と云つて漢の武帝が大將軍の

◆位を授けたる老栢◆

がありまして其の周りは四十尺五寸ありますが左樣な大きなものは他にはないのでありますそれから又嵩陽觀の前に唐時代の崇陽觀の碑があり更に進めば其處に嵩岳寺會善寺と云ふ二つの寺があります又南の方へ周ると漢時代に出來した少室の石闕がありますこれを過ぎて少林寺へ行きました此の寺は

◇◇達磨 が九年面壁してゐたと云ふ有名な寺であります

戰塵
過激派軍迫る

滿洲里よりの來電によるにダウリヤ戰線に於ては激變を生じたり即ちチエツク軍を攻撃すべく之れに當りたる殘餘の獨逸兵及びマヂヤール部隊約一萬三千はチタに集合したるが更にセミヨノフ軍攻撃を開始し南方深く攻め寄せたる爲めセミヨノフ軍はマチエフスカヤ本部を放棄し國境に退却したるが過激派軍は滿洲里を距る僅に五露里の地點を占領せる爲め附近村落は大恐慌を惹起し引揚用列車の配給にて大混雜を來し居りこ(哈爾賓)

◎内地こ海員
◆各方面にて盛に養成◆

勞働者缺乏の影響で下級船員の拂底は目下其極に達し各船主は共に其雇入に頭を惱まし殊に拔濟會などの如き從來遞信省から年額五千圓の補助金を受けてゐたものが今回一躍三萬圓の増加をして以て海員養成の事に盡すに至つた一事を見ても

◆◆海員拂底の事實が◆◆

明かである、現在我國の海員需要の人員は年五萬人で内之を十年勤續こ假定し其十分の一即ち年五千人死は乾度新に養成供給せねばならぬ、併し拔濟會の海員は年漸く五千名未滿で目下補給の養成所が規模比較的大きく

◆◆月に四五十名位を◆◆

養成する外目下準備中の大阪養成所が竣成せば幾分供給率は上るがそれも餘り大影響は無い、此缺乏に苦しんだ結果三井物産會社の船舶部では去年竣工造船所に附屬した岡山縣宇野町字日比なる三井造船所に附屬した普通海員の養成所を設けて適當な學術こ技藝を授け面かして

◆◆優秀な船員を養成◆◆

し社船若くは定期傭船に供給すべき計畫の下に目下人員を募集中である、聞く處によれば資格は尋常小學校卒業の者で修學期間は二箇年、其間寄宿に入れた上に月五圓の手當を支給する、卒業後は

◆◆三箇年を義務年限◆◆

こして三井物産の船舶に乘組ませ此間食費の外に九圓宛の手當を給する筈で定員は卅名であるが目下は前記の如く勞働者拂底の影響で下級船員の志願者は殆ご皆無の状態で横濱養成所すら定員に滿たす事甚だ困難であるこ云ふから新設の養成所で定員だけの數を收容し得るかどうかこ氣遣はれてゐる

◎困難こ危險を冒して 長白山の探鑛 安圖縣の遺利

久原鑛業日立鑛山の竹中信次氏一行數名は探檢の目的を以て、吉林より樺甸縣を經て安圖縣に入る豫定なりしも樺甸縣下は最近馬賊の跋扈甚だしく縣街の樺樹林さへ時々馬賊に蹂躪さるこいふ物騷なるため吉林より額穆敦化を經て間島に入り數日間龍井に滯在準備する所ありしが目的こする安圖縣は森林地帶にて夏期匪賊の横行は樺甸縣に譲らず危險界にあるを以て支那官憲は更に護衛兵を増員し糧食は數頭の馱馬に載せさせ護衛兵を併せたる三十餘名の一行は七月十六日泥路を冒し龍井發安圖縣に向へり然るに安圖縣街娘々庫に至るには里程約三十二里あり而も嶺以南安圖縣下に入れば峻坂險路相繼ぎ駄馬の交通さへ至難を訴へる雨期に際する旅行は殆んご不可能こあるを排して同方面に向ひたるこ此一行の困難は想像するに難からざるが倦て同一行の目指す探險の中心が果して何れにあるかは一切秘密こあつて知るに由なく一説によれば長白山下の某地の探鑛にあらずやこ稱せられ居れご果して奈何にや(間島)

◎蒙古の新鐵道
◆四鄭局技師長の踏査◆

四鄭鐵道局技師長藤根壽吉氏は開通路踏査を終り昌圖に引返し其より方向を正北に轉じ梨々たる沃野千里を横斷して蒙匪パブチヤブの根據地たりし突泉縣に出で洮南府に到り四鄭鐵道延長に關する調査を遂げ去る二十日歸着せるが今回技師長の旅行に由つて未定なりし線路は洮南府より伯音太拉に通ずる線を採るか又は伯音太拉より洮南縣に通ずる線を採るかに決定すべしこいふ(四平街)

◎滿鐵三等車改造

從來滿鐵の三等客車には普通腰掛を有する者こ單に板敷の儘の者こありしが其二等は内地各鐵道に比して遜色なかりしも三等車は如何にも見劣りする感ありしが特に板敷の儘の分は支那勞働者の嗜好に應じたる者なりしに昨今に至りては支那人も腰掛を好み日本人にても相當の人迄三等列車に乘ることなりし爲め三等列車改良の必要を感じつゝありしが愈々來月匆々より腰掛に全部軟なる革のシートを附したる三等客車を數臺運轉する事こなり猶ほ次第に同車を改造する豫定なりこ(大連)

◎間島こ反過激派
過激派に通ずる朝鮮人の取締

間島局子街露國領事館内に此程より起臥しつゝある露國人數名の行動は尋常の避難者こも見わざりしが其正體は果せるかな元露國將校にて一名は騎兵大尉一名は中尉なりこ知れ而も此陸將校二名は局子街露國領事館臨時派遣の名義にて現に琿春に駐在して兩地相俟つて過激派に對する警戒嚴重を加へをれり此將校一行は臨時政府の大立者ホルワット將軍の麾下に屬し露領より支那領に入る過激派を琿春に喰止め絶對に通過を防ぐ使命を負ひたるものにて近く琿春に一名增員し兼て過激派に通ずる鮮人おも取締此方面に於ける過激派の行動監視取締を怠らざる方針にあるが如しこ謂へり(間島)

◎絶望視せられし 天寶鑛山福音
◆山神祭の本尊に銀塊◆

天寶山鑛山の近状によれば從來廢て、顧みられざりし舊坑内の鑛石に多量の銀分あるを發見し銅鑛よりも銀鑛に望みを囑するに足るに至りこあり幷は從來專門技師の肉眼にて銀分ありこ思惟せられざりし舊坑の鑛塊を不圖したる事より分析したるに銀分多量の結果を齎らし而も絶望の前途に更に大なる光明を與へ現に過日同鑛山にて行ひたる山神祭祠宮の本尊には同銀塊を安置し大に祝福を表したりこ(間島)

◎仁川に於ける 海員養成
ふる有望なる諸習者の前途 社會の要求に應ずる良施設
熊野海事課出張所長談

海運界に於ける下級海員の不足は今更云ふ迄もなく船舶操縦上にも少からず支障を生ずるが如き状態にありて海員の養生は實に國家的に現下の急務こなされつゝある處である獨り下級こいはず高等職員に於いても尙ほ然りで一般を通じて船員の不足こ云ふ事は實に甚だしい之では環海國の戰後の商業が心細いこ云ふ譯である

内地の好景氣に

伴ふ諸工業は發達に從つて各方面に屬する職工が續々朝鮮を後にして内地へ歸還するが如く海上生活にある海員も亦此の景氣に左右せられてより好き待遇を受けんが爲めには少し技倆を有する者は直に内地へ引揚ぐるこ云ふ始末で朝鮮沿岸に於ける海員は更に一層の不足を感じつゝあるのである朝鮮では毎年數回に亘つて海員試驗を行つて以て多數の船舶職員を採用しつゝあるのであるが既に今日では

受驗資格を有す

る者は悉く受驗し採用すべきは既に採用したこ云ふ始末で尙ほ且つ足らないのであるから資格者を養成する事は目下最も急こする處である今回仁川に設置したこ云ふ私立海員養成所の如きも亦此の急に迫られて社會の要求に應じやうこするに外ならぬのであるが時節柄最も適切で且つ之れに學ばんこする者の前途が頗る有望である事は云ふ迄もない將來朝鮮には必ず

官立學校こして

船舶職員の養成機關を必要こする事は既に認められて居る事であるから此の種の養成所は或は近き將來に於て官立養成所たるべき機運に遭遇する事があるに相違ない今此の養成所に就て特に希望者の爲めに一二を述ぶれば

修業期間の短い

事が先づ最も便利であり而も教授の目的こする處は實地に重きを置くにあるから多少の苦痛はあつても一人前こなるには頗る捷徑である教授は養成所の依囑を受けて特に當所の職員が擔任する事になり授業の便利上當分の間當海事局出張所樓上で席上の學課をやり

實地練習こして

便宜港内の碇泊船に乘り込んで技術者の實際の處を見聞するのであるから其の効果は實に著しいものがあるべき筈である、又修業期間中の前三ヶ月間は養成所から相當の食費を給し後の三箇月間即ち海上の實習をやる期間は其の船主から食費以外に手當を給する事になつて居るから敎育上多くの學資を掛くる事の出來ない家庭の事情にある者は

最も便利である

又試驗に對しても其の前途に於ては相違ない而も其の前途に於ては頗る有望であり毎年數回施行する職員試驗に對する受驗資格を具備する譯であるから此の試驗に合格すれば百圓以上の報酬を得る際になるのは易々たる事である(仁川)

◎勞働者拂底 工事界大打擊

近來諸物價の暴騰に伴なひ諸工賃も馬鹿に高くなつたが、是れが爲めに鐵道工事、其他の土木工事、造家建築業者の蒙る損害は非常なものである相ながら鐵道工事請負者の語る處を聞くに工賃の騰貴も苦痛の大なるものに相違ないが、是に伴なうて來る間接の苦痛は更により以上大なるものがある

甚だしきは三倍 も怠者が殖ゐる

近時勞働者の賃銀が暴騰したのは著るしき事實で、昨年頃まで鮮人人夫の賃錢は三十錢乃至四十錢位であつたが、只今では七八十錢から一圓二十錢も出さねば働かぬそれはまだよいこして、彼等は元來恒心のない奴であるから、貯蓄心なるものが更にない爲め、收入が増すに隨つて遊惰放逸に流れたがる、昨年頃までは一箇月に二十五日位は働らいたものだが、今年になつて倍額以上も賃錢を取る爲めに二十日内外しか働かぬ傾きがある、殊に諸工事の勃興に伴なひ何處に行つても仕事の見付からない事がないため眞面目に一所に長續きがしない

甘言を以て誘つても駄目である

今日は甲の帳場にあつても、明日は乙の帳場に移り明後日は丙の帳場に移るこ云ふ塩梅に轉々として殆んご底止する處がない、隨つて仕事に熟練の上にも非常の打擊であつて、多少の怠け者を見て居ても叱言を言ふ事が出來ぬ、朝の就業時間の如きも平素ならば時間の勵行こ云ふ事をヤカ間敷く言はれるが昨今では叱言を言つたり時間を八ケ間敷く言つたりするこ、サッサこ他に轉じて了ふから仕末に了へない是は獨り鮮人人夫に對する缺點であるが、扱て支那苦力を使役して見るこ此奴又近頃性質が非常に惡くなつた

能率は減る許り 賃率は騰る許り

如上の事實で以て勞働能率は日一日こ低下する許りであるから、工事は思ふように進捗しない爲めに是では行かぬこ遙々多額の費用を使つて關東方面から支那苦力を募集して來て見るがこの手合になるこ必ず、何程かの前借を要求する旅費は無論立替て連れて來ねばならず、愈々是れで何程かの補充が就いたものこホット一安心して居るこものゝ一週間も經たぬ内に前借も旅費も踏み倒して何時の間にか逃亡して仕まふこ云ふ有樣でいこも眞面目な人間の想像もつかぬ惡性である

どつちが雇主だか傭人だか判ぬ

要するに今日の傭ひ主こ被傭人は以前こ違つて主客轉倒こ云はねばならぬ、殊に鐵道工事の如き期間の切りつめた仕事になるこ、其の足許を見らるゝ場合が非常に多くて愈々こ云ふ場合になるこ、出來る仕事をせずに延々さして增し賃錢を要求するしそれに應ぜなければ、他に轉ずるやら、なまけるやら、殆んご手が著けられぬ、是も畢竟するに勞働者の需用が激増した結果に外ならぬ、此趨勢を以て持續したならば凡ての工事請負人は全滅の不幸を見ねばなるまい洵に困つた世の中になりました(大田)

農信
小麥出廻尠し

田市場に於ける小麥の出廻り状況を聞くに本年の收穫期は降雨多かりし爲め時機を失し爲めに品質を損じたると其後降雨續きたる爲め乾燥不充分にして例年に比し出廻り大いに遲れたるやの感あり目下の出廻りは到つて尠く未だ高物の取引を見ず數日前より二三俵の小口物が漸く市に出つゝあるも相場の確定を見ず以なしの石拔き一圓五十錢處を稱へつゝあるも愈々の出盛り期こならば暴落し十四三十錢の相場を見るべしこ某當業者は語れり(大田)

演藝案内

京城本町 壽館 電話一〇五〇
▲各派聯合納凉浄瑠璃大會 四日目語り物二十六日(いろは順) 播州皿屋敷鐵山館 ▲忠臣藏 ▲菅原四段目寺子屋 ▲千本櫻すしや ▲時雨こたつ紙治内 ▲おこまオ三 白木屋 十六 旭 昇

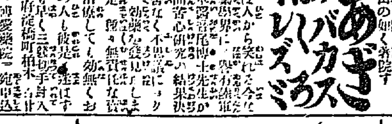
櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 當る七月廿六日より臨時特別大興行 ▲米國ミウチユアル會社傑作 滑稽活劇『チヤプリン番頭』五千呎 ◎探偵活劇『覆面騎手』全五卷 △新派悲劇『生ける屍』全五卷 ……

三町治二丁目 浪花館 電話二六〇番
毎夜午後七時より開演 ▲京阪落語組樂會一座へ更に若手數名 ……

京城壽町 壽座 電話五七八
新派さゝ良會一行 當る七月廿六日 小島孤舟氏作『恨歌』七場 ……

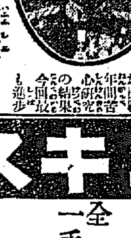
黄金館 電話二六三七・二六六六
米國活動寫眞 當る七月廿二日より臨時特別興行 ▲消稽チヤプリンの總理大臣 ……

有樂館
京城本町 活動寫眞常設館 早川演藝部直營 電話(南)五七番 當る七月二十六日より公開 ……



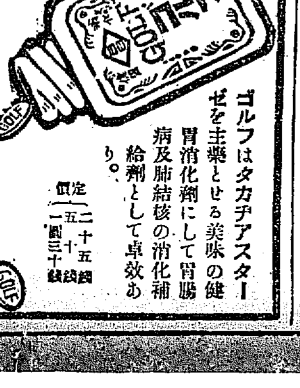
あぎ
ソバカス
ほくろ
しみ
イボ

質 京城明治町二丁目 大塚質店 電話一八四九
戰慄すべき火災の防備に安全なる倉庫あり 多額の融通も御便宜を圖る



◎音尾博士先生創見
化學的療法無代進呈
全治して喜び……

人から嫌はれる わきが



消化健胃 ゴルフ
ゴルフはタカヂアスターゼを主藥とせる美味の健胃消化劑にして胃腸病及肺結核の消化補給劑こして卓效あり。
定價 二十五錢 五十錢 一圓三十錢
東京室町 泰昌製藥株式會社

京城本町一丁目江戸川横 **岡本齒科醫院**

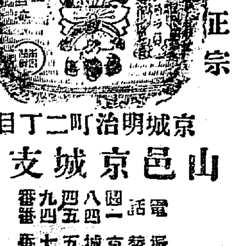
内科 眼科 小兒科 京城黄金町三丁目赤門通(電車停留所前)
院長 本田建義 **本田醫院**
附屬 京城肛門病痔疾療院 電話二四四三番 振替京城三三八番
痔疾特種注射根治療法解説書入用の方郵券壹錢要

淫羊藿エキス

淫羊藿エキス 通稱 三枝九葉草エキス
人蔘に優る滋養強壯劑
主効 一、神經衰弱 一、貧血症 一、胃腸病 一、肝臓病 一、ヒステリー 一、ヒポコンデリー 一、腎臓病 一、生殖器病 一、リウマチス 一、老衰 一、精力減退
定價 廿瓦入 金壹圓 卅瓦入 金壹圓五十錢 四十瓦入 金壹圓九十錢 五十瓦入 金貳圓三十錢
送料 鮮内 二錢 鮮外 三十錢
全國一手販賣 京城日報社代理部 朝鮮京城府大平通一丁目 電話長六〇〇番 振替貯金口座京城三〇八番
京城特約店 山岸天佑堂 京城特約店 北島支店

内科 胃腸病科 診察夜九時迄
京城本町一丁目 **石川醫院** 電話一二七・一二九番

比較は最良の撰擇法なり!!



サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話八一・四四・九五・九四番 振替京城五七番

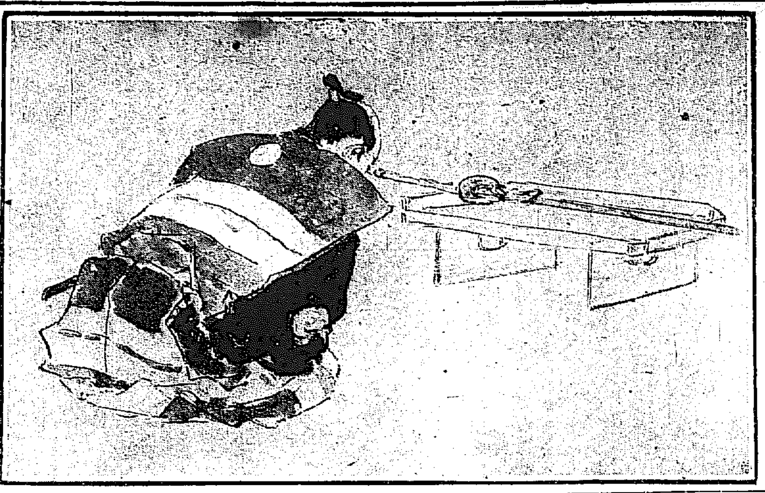
資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話五八番・一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は内地各方面朝鮮樞要の地に有

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第百四十八席

磯端伴藏が才智を以つて首尾よく兩家の確執を解いて山形へ立歸り、此旨を復命するこ一同も其勞を謝し手を拍つて喜こびました、太守義守公も御滿足、さしも難議こ思はれた小太郎の歸參さへ無事に聞屆けられたこいふ。で上泉一門の者も息を吐いて安心しました、佐竹伊達兩家よりは改めて使者を入れ、尚佐竹よりは小太郎迎への最上家へ送り水魚の交はりを賴み使者を別に差越しましたから小太太郎も初めて愁懷を散じ、天日を見る心地して打喜こび、上泉一門こ共に最上家に厚く禮を述べて暇乞ひをする、時に太守義守公『［illegible］日本國に隱れなき上泉伊勢守の門下なる龍虎四天王、八天狗など、稱されたる面々が斯の如く我城内に集まつたるは珍らしき事である之れも我武運に叶ひし所、此儘に返すも殘念である、迚もの事に明日城内櫻の馬場に於て大試合を催し何れも其武術の玄妙を見せて貰ひたい』こいふ仰せ、老臣一同も君もの上意我等に於ても後學のため一見したいこいふのでスグに此趣きを小太郎以下の人々に傳へる一同の者も領承して翌日山形の城内櫻の馬場に於て晴々しき大試合を催しました、試合の話しは毎度でございますから大略いたしますが何れも玄々妙々の秘術を盡して勝負あり、最後に塚原小太郎こ磯端伴藏兩人木劍を執つて立合つたが三番の勝負に初めは伴藏が勝ち次に小太郎が勝ち三度目は相討こいふ何れも粹へる如く見物したが太守仰せに、義士上泉の龍虎こいへるだけあつて其技倆に甲乙なし、天晴なる劍士である愛でに』こあつて小太郎に筑前左文字の刀一口、伴藏に延壽國村の脇差を下され、其餘の人々に何れも刀一口づゝ褒美こして下し置かれる一同恩を謝して引退りました其翌日一同打揃つて山形を立ち一旦上州箕輪へ差して乘込んで來た、上泉の道場へ着すこ伊勢守の喜び云はん方なく自身玄關口まで出迎へて一同の勞を謝し小太郎の本懷を遂げ得たるを祝しました、殊に磯端伴藏の骨折一通りではないから伊勢守改めて伴藏に其方志を賞し茲で日を經て小太郎は佐竹へ送ることになりました、此方は伊達家にては一同評定の上伊達兵庫惡事露顯の上は早く誅伐をすべしこあつて忽ち兵馬を向けるこゝなる、佐竹に於ても彈正の一子長一郎は存命なれば之れも誅伐いたさねばならぬこ同じく討手を男沼へ差向けるこいふ騷ぎ、驚いたのは兵庫でござります、手の掌を返すごこく今度は自分達が征敗を受けるこいふので其驚きはいはん方なく、再三使者を遣つて歸疎をしたが固より聞入れる樣子もなく、早兩家の軍勢取詰來つたに依つて、鱉がの兵庫大に狼狽防戰の用意をしたがモウ堪うなるこ一人散り二人散り、從ふ人數もなく到底合戰などは思ひも寄らぬから兵庫は長一郎こ相談の上一先づ相馬家を賴まんこあつて男沼から船にて磐城平の相馬家を賴つて乘込んで參りましたが相馬家に於ても兵庫を助ければ兩家を對手にしなければならぬから斷然謝絕に及びました、兵庫今は詮方なく再び男沼へ引返さんこする途中、早くも伊達の片倉の人數取詰め來つて兵庫を取卷き遂に兵庫は生捕こなり、長一郎官祿は一方を切破つて逃げ去りましたが其行方は分らずなりました、片倉の人勢兵庫を引立て米澤へ歸り、調べの末切腹申付け岩沼の城は沒收こなる、佐竹に於ても人數を［illegible］八重樫城中にて自害して相果てました、小太郎佐竹へ歸參いたしまして父土佐守の名跡を起し舊領三萬石を賜はりまして與四郎能吉も其喜び一方でなく何れも安堵いたしましたがお話變つて彈正の悴長一郎官祿は塚原を父の仇こ恨み姿を變じて付狙ひ、小太郎再度の上洛、金閣の能舞臺に勝義を目掛け、白刃を揮つて飛掛るこいふ大活劇は席を追つて申上げます。



ミルクキヤラメル

◎江華島島信　江華警察署に於ては從來武術の奬勵をなし來りたるが近來漸く衰微せんこせしより野田署長は今回之が挽回に努め警察署内庭に於て擊劍を奬勵し警察署及び其他諸官署員民間よりも有志者來場する者多く又本署巡査教師たりし巡査上村古兵衛氏は今回振威警察署に轉任したるを以て在勤八箇年の功勞に對し内鮮官民有志は醵金の上紀念品を贈呈せり▲江華郡府内面長尹相弼氏は今般一身上の都合に依り辭職したり氏は在職四年以上其間公共事業に盡瘁し面治上の事蹟枚擧に遑あらず上司の命達は何時も他面に率先し著々其實を擧げ良面長こして官民の信用厚かりし人なり因に同氏に對し内鮮官民の發企にて紀念品を贈呈せり

七月廿八日　九星　舊六月廿一日　丙子　本命九紫　南方友引
▲九紫　我儘なる心の起る日新事見合西方は吉［illegible］▲一白　虫の好かぬ事有日新事手控着事は吉　女子は行儀を守らるべし▲二黑　［illegible］▲三碧　穩便の日［illegible］▲四綠　［illegible］▲五黃　［illegible］▲六白　［illegible］▲七赤　［illegible］▲八白　［illegible］

汽車　京釜線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　湖南線（南行）　同（北行）　京元線　京仁線（仁川行）　同（南行）　［illegible］

中元の御進物には

國產　花屋のポートワインが

贈つて安心　貰つて重寶

滋養分タツプリー飲んで滋味しい

テーシー印

至極恰好で御座います

御進物用　化粧函入　一本二本　三本半打　の各種あり

全國到る處の信用ある和洋酒食料品藥店にて販賣す

釀造元　東京　帝國シヤンパン株式會社

總代理店　大阪　花屋商會

大連燒酎　銀牌二個　金牌二個

大連燒酎製造所

鐵　鋼材　浪板、平板　針金、洋釘

新田帶革總代理店

（物價表御一報次第無代進呈）

白神洋行

ペイント、油類一切　コークス、セメント　耐火煉瓦、モルタル　スコツプ、シヤブル　帶革、ロープ　機械、工具　兩屬品　其他

新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣　松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士　加古貞太郎先生序文
前韓國財政顧問附財務官　小笠原寬先生序文
法政大學校友　關西大學校友　越智唯七編纂

大正七年一月一日現在　正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵税十八錢　本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの一目瞭然たるものにして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、清、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戸數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の概況を掲げ

本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通、產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也

發賣元　京城日報社代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

商況

東京期米特電　［illegible］

大阪株式特電　［illegible］

大阪三品特電　［illegible］

大阪期米特電　［illegible］

下關期米特電　［illegible］

雜報　［illegible］

●三品一高一低　［illegible］銘先物は十一圓三［illegible］七十錢午後六十五錢［illegible］

●金巾類活潑　［illegible］粗布三十［illegible］一三百十六圓［illegible］晒金巾［illegible］

●染料依然强硬　［illegible］後高見越［illegible］取引行はる［illegible］二千六百圓處［illegible］結局品質の格下げ現値を維持［illegible］

●洋釘眼先高　［illegible］

●銑鐵益昻騰　［illegible］方の昂騰も尚一二三圓

●大連市場に品不足　［illegible］入荷は絶望［illegible］

●白絞油反落　［illegible］割安に商談進み漸く多［illegible］

●正米持合ひ　［illegible］商内皆無［illegible］此邊小高［illegible］下の裡に推移［illegible］

●木炭益々强調　［illegible］市中小賣一圓を唱へ［illegible］

●排底を感じ需要閑散の今日　［illegible］

●爪哇糖著荷　［illegible］爪哇白双は悤々南大門驛に［illegible］

到著したり　［illegible］他の精糖に多少響くべし

下關相場　［illegible］

各地商況　［illegible］

南大門廻穀　［illegible］

今村覺次郎　［illegible］

仁川正米　［illegible］

生魚相場　［illegible］

仁川期米

▲二十六日前場（依然强硬）忽ち七十四錢反［illegible］東京一節先七［illegible］下放入電［illegible］折柄東京［illegible］十錢、昨止より十九錢安に寄付［illegible］跳返し［illegible］八十二錢［illegible］遂に九十六錢［illegible］暴騰［illegible］買方の活動開始形勢［illegible］圓二十錢と昨止より二十八錢安入電［illegible］

秋田　大阪　種子荷揃　大田本町二丁目　松田商店　振替京城三七三　電話長三九

▲期米反動高　［illegible］

市場雜觀　［illegible］

仁川取引所　廿六日の九月限　［illegible］

北濱たより　氣直りの原因　［illegible］

京城日報
第五版

[illegible]の絹織物及び絹メリヤス肌[illegible]額二分を増加し更に之を前年同期に比すれば輸出は五百四十三萬九千圓輸入は二千六百四十五萬五千[illegible]萬九千圓輸入は四億三千九百七十九萬圓を孰れも増加せり(東京)

◎銅相場強調

[illegible]に引上げたるが紐育に支配せらる內地相場も亦騰貴し昨今十月物七二三圓見當にて成約あり而して[illegible]居る處にて三四ヶ月先物[illegible]しては七十四五圓を唱へ容易に手放さざる向もあり旁々前途は益々[illegible]肥料等の騰調に幾分の不況を補ひ得たるも所謂夏枯時節とて大勢を左右するに至らず黑鉛は[illegible]に於る地方購買力の增進に相頽勢挽回の氣運に向ひ滿洲栗等の廻荷增と相俟つて市況小繁裡にあり

[illegible]風雨强かるべし△示度七三六耗△郵便中心九州西方海上△平安南北咸鏡南北黃海道△京畿江原道

露廢帝殺害

露國廢帝の殺害は、屢々傳へられたるも、未だ其の眞否は判明せざりしが、二十一日のロイテル電報は、廢帝銃殺の公報を傳へたり。玆に於て、此の殺害が、愈々事實なる事を信ぜずんば非ず。此の公報たるや、勞兵會中央執行委員會よりの發せしものにして、且つ其の理由を附して曰く、チエック軍進擊の危險と、廢帝を中心としての陰謀に因ると、之れ或は過激派が自己の非を蔽はんが爲に非ざるか。同二十七日間罪なる審理の後、死刑を執行したりとは、廢帝殺害の理に附したるは、先月中旬にて、第一報なりしが、或は此の際既に殺害せられたるものには非ざるか。此の殺害の理由が、廢帝を中心とする陰謀にありしとすれば、彼の佛國革命に際し、墺普聯合軍がルイ十四世を救はんと聲明し、爲にルイが斷頭臺上の露と消ゆしに多少類似せる處無きに非ず。或は此の理由が、直接革命の結果なりとせば、英國に於けるコロンウエルの內亂、佛國の革命、墺國に於けるマキシミリアンの政府顚覆に見る、最も極端なる手段にして、革命の結果が國王の一身に危害を及ぼせしが如きは、實に歷史上[illegible]の三事實あるを見るのみ。十九世紀後半以來に於ける革命は、大槪は平穩に行はれ、戰端を開くに至らざりしものさへ多し。彼のナポレオン三世の革命の如きも、普佛戰爭より顚致せられたるに過ぎずして、別に革命戰爭なるものは見ず、ブラジル革命の如き、實際一兵卒をも動かさず、布哇革命亦然り、葡萄牙革命は些々たる兵亂を見たるに止まり、支那革命は今に至るも、尙ほ餘波動亂を見るも、皇帝は依然として、其の稱號を保有す。獨り露國革命に於てのみ、百餘年前の大悲慘事を繰返したるの觀あり。もとより廢帝の殺害が現下の國際政局には、直接何等の大影響を及ぼす處に非ざるも、正直なる露國々民の過激派に對する反感は、更に一層激烈深厚なるもののあるは疑はざる處也。

廢帝は千八百六十六年に生れ、行年五十六歲、生母たる前露國太后は、英國皇太后アレキサンドラ陛下の姉君にして、廢帝は實に英皇陛下とは從兄の間柄にありたり。千八百九十四年二十六歲を以て帝位を襲ぎ、革命勃發の昨年迄の在位十九年、露國ロマノフ家の始祖ミハイエル、ロマノフが帝位に卽きてより、以來今年に至る三百五十五年、遂に廢帝の碧血を以て、其の悲慘の歷史を終れり。由來ロマノフ王朝の歷史は、世界史上に一大不可思議を以て目さる、殘虐の碧血と慈悲の光明は、奇しく史上を彩り、平和を渴望しつゝ殘忍を擅にし、外に民本主義を主張しつゝ內は君主獨政專斷を極め、矛盾はロマノフ家王朝史の全頁を通ず。而も此の王朝の殿後を飾るに此大悲慘事を以てす、後來の史家は之を慨して一大戲曲と云はん。

奉天出兵論
（東三省公報所載）

西伯利亞方面の形勢は益々不穩を加へ獨墺俘虜と過激派は相聯合して露國を蹂躙し其の勢ひ極東に波及して中露國境將に兵亂の巷と化せんとす僅に一二新組織の小政府を恃むも以て獨勢の東漸に抗するに足らざるなり是に於て協約各國は西伯利亞問題に對して出兵を決定し之に干涉を試むべく日本の如きも亦各國と一致の行動を取らざるを得ざるに至れり日本と中國とは出兵事件に關し特別の條約あり我國家が西伯利亞に出兵するは對獨宣戰及び中日協約に對し當然の義務にして各國と日本と既に出兵を決定したる以上我中國また出兵せざるを得ず曩に獨軍未だ露都に達せざるの時佛國は我國に請求して歐洲出兵を爲さしめんとせり當時若し出兵するとせば全國の勁旅中より之を選拔すべく東三省の兵は必ずしも參加を要せざりしなり然るに今は南北兩軍互に交戰しつゝあり我が政府若し兵を西伯利に出さんとせば南軍は卽ち派遣すべからず北軍亦動かすを得ず蓋し南北相角逐するの時其の內訌に從事するの兵を撤し以て外患に赴かしむれば我の敵たるもの必ず機に乘じて我を狙へすべく我政府は現在の軍隊を割いて到底西伯利に差遣するの餘裕なかるべし故に出兵の約を履み協約各國に其の義務を盡さんとせば速かに南北の統一を謀らざる可からず惟ふに南北統一は容易に行ふ可からざるに反し出兵問題は刻々其の急に迫る今日に於て之を策するに則ち奉天駐南の軍隊全數を召還して以て東北の國防を固うし並に其の精銳を擇んで西伯利に赴かしめ以て各國と共同動作を爲さしむるの一途あるのみ蓋し南北の紛爭は本來奉軍に依りて其の勝敗を決すべきに非ず奉軍の南征は全く私人の援助を爲すに過ぎざるなり今や兵を湖南に屯し戰鬪を爲さず徒らに人の勢威を助くるを得るに非ず國外出兵に從事し國家を衞り興國を助くるの大公に加はらざるなり況んや西伯利は東三省に接近し哈爾賓滿洲里は吉林に介在す其の關最も東三省の全局を牽動し易し而して吉黑兩省は兵力甚だ薄く到底其の危險を防禦し其の安全を保持するに足らず然るに奉天の兵力は既に吉黑に比し充實す卽ち國家の北邊を衞り友邦の信義を全うし東三省父老子弟をして砲火戎馬の憂ひならかしむるに充分なり凡て撤兵して奉天に廻るは既に南北軍の怨恨を釋き而して東三省の政局を統一するに最大の便利あり時勢人に逼り機失ふ可からず望むらくは之を斷行すべき也

◇ひかげ　□□□□□□　古賀龜雄筆

歐洲より歸りて（四）
於實業家修養講話會　河野醫官講演

そこで政府は食糧及び石炭に就き色々研究を遂げ現下の缺乏に堪へ得る樣種々の注意警告を國民に與へて居る。例へば石炭の節約を圖る爲め官廳、會社、事務所其の他多人數集合する處には一々揭示して石炭節約の必要を說き又商店等に對しては仕事は午前八時半から開始して午後七時には閉店せよ、又一般に家の室は攝氏十四度以上に暖める事は禁じられてある。而して夜間暖爐を焚く事も禁ずると云ふ樣な次第で、頗る嚴重に命令し一齊に之を遵守せしめて居る。之が爲め中流以下の者は燃料を得んが爲め附近の山に出掛けて枯木や木の枝杯を拾ひ來つて、暖をとると云ふ有樣で一昨年の秋から山に木を拾ひに行く者が平生の三倍に上つたと言ふ事である、夫で此頃では隨分遠方まで行ねば木は拾へないさうであるが石炭缺乏より斯の如き事柄を生んで居るのである一般物價の騰貴は甚だしく爲に一切の紙の如きにも制限を加へねばやりきれない。自今新規に新聞雜誌を發行する事を禁じ或は新聞の日曜附錄を廢したものもある斯の如くにして極力紙の節約を圖つて居る。大西洋に於ても隨分多くの船舶が潛航艇の爲めに擊沈されたが西班牙船だけは安全であつたのに本年に入つて西班牙船も獨逸潛航艇の爲めに擊沈されたのも米國から穀物を積んで運送中擊沈されたものもあつて斯う云ふ事の爲めに西班牙に依つて辛うじて物資の供給を受けて居た瑞西では尙更外國より物資の供給を仰ぐ事が困難になつて來た。西洋人は肉類許りを食ふて居る樣に言はれて居たが其實左樣でなく腹をこしらへるのは麥パン等が主である又其肉類も制限され西瑞では或州に於ては全然、馬鈴薯の無い所もある如何に金があつても馬鈴薯すら思ふ通りには買へぬと云ふのが實狀なのである。私の見たのは、主にベルン州の有樣であるが西瑞の他の多くの州も略之と等しき狀態に立至つて居ると見て差支あるまいと思ふ。又石炭缺乏の結果瑞西に於ては、汽車の回數が餘程減じ、交通の不便は夥しい事なつて來た。

次に瑞西を出發し佛蘭西のリオンを經て巴里に入つたが、時恰も獨逸飛行機の巴里總攻擊の眞最中で、夜になると市街は眞暗になる。飛行機は主に夜間來襲するので市街を暗くするのであるが、さて愈々敵の飛行機が戰線を通過して直戰線から巴里に通報が來るので巴里目懸けて飛んで來たとなると自動車で警報を發して市街を廻り歩く、夫れは悲しい笛の音で實にいやないやな音である。此の警笛を耳にした市民は大急ぎで地下室に難入る、地下室は一番安全な避所である。巴里の市街を步くと大抵の家の入口に大きな紙に『アブリー七十』とか『二十五』とか云ふ文字が貼付けてある。『アブリー』とは避難場と云ふ意味なさうであるが、其處へ何人入り得ると云ふ事を現はして居る譯なのである。或は地下鐵道に逃込む。三月の攻擊の時には地下鐵道に逃込んだ者が多數あつたが、軌道に落ちて、電流に觸れて死んだのが中々多かつたと聞いた。

書道の話（四）
今關天彭氏談

要するにこの筆法傳授といふことは、六朝から唐代にかけて非常に肝要なものとせられて居つたと云ふことは事實であります。又このほかに執筆法といふ嚴しいものがある。殊に名高いのは撥鐙法であります。この撥鐙法に就ても怎ういふ工合に筆を持つのか、人々の意見が相違して居つて能くは分りません。普通の說に據ると、鐙は馬の鐙に、撥はひらくなり、めぐらすなりで、馬へ乘るには鐙へ足を淺く入れて置かないと、能く馬を乘こなすことが出來ない。夫れと同じく筆を執るにも、筆を中指と人差指の尖に輕く挾へて、容易に動かすことが出來るやうにすると手の掌が圓くなつて、丁度鐙のやうになる。夫れが撥鐙法、卽ち鐙を撥らす法だといふことであります。この說は書苑菁華といふ書物に載つて居ります。この撥鐙法の外に歐陽詢の三十六法や、書訣などいふものが澤山あります。元、明にも澤山出て參りました。淸の道光頃に至つて包世臣といふ人が出て、藝舟雙楫といふ書物を著はしたが、其の中に執筆法や結字法が委しく論ぜられてあります。これは書道に志す者は大抵讀んで居ることゝ存じます

丙　書學

書學は書道に關する意見又は學問のが正當であります。この論書でなつて居るが、書論と謂はなければならぬ樣には書論と云つたのであるが、今日では、唐の孫過庭の書譜、宋の姜夔の續書譜が最も名高いものであります。元、明にかけてこの種の著述は極めて多いので、一々枚擧するに遑がないやうな譯であるが、其の中で董其昌の畫禪室隨筆の論書が面白いと思ひます。淸となりますと一層澤山出て居ります。其の中で阮元の北碑南帖論や南北書派論、若くは先に申した包世臣の藝舟雙楫などが名高いものであります。この藝舟雙楫は明治十年前後に在つては、日下部鳴鶴翁などいふ書家の手合の秘書であつたといふ話であります。この書物の主張を本として更に一家の見識を立てたのが康有爲の廣藝舟雙楫であります。この書物の主張は前書と相並んで北碑派の議論の中堅となつて居るのであります。

丁　書品

これは書家の筆蹟を品評して優劣を定めるのであつて、謂はば今の番附のやうなものであるが、筆蹟の優劣を定むるのに一種の美文を以てして、そのまた美文がいかにも面白い、かやうな事は畫の方にもありまして、南齊の謝赫という人が作つた古畫品錄は畫界に於て有名なものであります、書界の方でも謝赫と同じ時代に王僧虔といふ人があつて、始めて論書といふものを作つて、晉、宋間の諸名家を極めて簡單な文章で論評致しました

開化樓歡迎吾堂詩宗歸朝席上賦呈
聽松　木村助三郎

爽涼天氣正秋分。高閣相邀張酒軍。龍塞三旬踏氷雪。燕京一夕會風雲。手中收拾金函字。眼底研摩石鼓文。況復錦囊珠玉燦。知他翰墨倒羣群。

吾堂曰　余游黑龍江、而入北京、會有戰亂、前聯頗爲適切、後聯亦寫實也、

月瀨浮舟　金陵　幸島又三郎

載將詩酒棹輕舟。千樹梅花萬碧流。滿目溪山白於雪。依稀人在畫中遊。

吾堂曰　神仙之境、只許詩人徘徊、

婦人畫報

八月號　價參拾五錢郵税貳錢　半年特別號共貳圓四拾錢　壹年同四圓拾錢(?)
東京京橋區竹(?)町一　振替四千九百番　東京社

長編小說　源氏車　須磨子　渡邊霞亭　池田芳菊(?)
△八月の家庭園藝　伏木
△女俳人千代の行脚　江戸川
△涼しいお料理　吉田里子
◎新婦人に望むこと　建部博士　與謝野晶子
◎指導者の個人的男子　[illegible]
(畫報)　[illegible]
△口かへりの納涼地　津久志
△女の勧誘員となつた經驗　竹花仲子
△家庭で出來る簡易浴衣地　こまな
◎妻選み……　巖谷小波
△私の學校卒業した方々　山脇房子
△朝鮮の女學生と女醫學生　山脇社長
△樋口一葉(美人傳)　長谷川時雨
◎子供を避暑させる注意　太田博士
◎私共の避暑地生活　井上秀子　澁田みか
◎暑中休暇を如何に利用するか
△遊ぶ方に利用せよ　深堀博士
△健康上の革命期　近藤博士
附錄　◎濱つたひ(森田久治筆)　◎穗高嶽(油繪)　美人譜　中川八郎筆

小學教員受驗講義
立身の捷徑は先づ就職容易なる小學教員となるに限る全國其不足實に四萬本會は學監師範學校教頭大前先生監修の下に最も親切速成に教授し受驗就職の便を與ふ正科一年速成科六ヶ月卒業會則申込次第進呈
東京小石川局區內　帝國師範教育會

看護婦募集廣告
志願者は履歷書に身體檢査證を添へ至急申出べし詳細は當方へ承合すべし
大連　滿鐵大連醫院
奉天　南滿醫學堂附屬醫院

◎寫眞術獨習者無二の好指南　高尙の職業優美の娛樂
寫眞術速成講義錄
此際入會者は入會金其他種々の大特典あり見本付會則申込次第進呈
獨習好季　東京牛込局區內　振替東京三五八四　大日本寫眞學會

◎謹告
石炭其他諸材料暴騰ニ付瓦斯料金及電車割引券代金ヲ左記ノ通リ改定仕候間此段謹告仕候也
記
一、瓦斯料金壹千立方呎ニ付(大正七年八月十日ヨリ實施)　熱用金武圓　燈用金武圓七拾錢　併用金武圓四拾錢
一、電車割引券代金(大正七年八月一日ヨリ實施)　武拾回券金五拾五錢　四拾回券金壹圓拾錢
大正七年七月二十五日
京城電氣株式會社

改良モルタル製
屋根瓦と壁張瓦製造販賣
改良モルタル瓦製造販賣
▣本瓦は建築界の進步に伴ひ幾多研究の結果考案せし者にて家屋の外觀頗る美也
▣本瓦は硬化劑を配合して製造せしものなるを以て頗る堅牢なり
▣本瓦は耐寒、耐暑、防火、防水力完全なるを以て永久的使用に耐へ眞に理想的也
▣本瓦は著色御注文に應じ殊に輕量にして汲水少く木材を節約し得る爲に低廉也
▣本瓦は年數を經るに從ひ硬化し使用後十年以內に雨漏りせし時は無料にて直す
▣本瓦は壹坪四拾枚葺にして附屬道具もの完備せり
……家屋建築設計に應ず……
工場　新龍山漢江通り(電話一四四)
特約店　新龍山漢江通(電話五七)　櫻井商店
京城古市町(電話九四一・三一〇八番)
苫米地商店
振替京城五三番

新日本見物
臺灣 樺太 朝鮮 滿洲 靑島の卷
島村抱月　石川寅治　中川八郎　河東碧梧桐　稻葉君山
巖谷小波　安田稔　中澤弘光　澁川玄耳　前間恭作　合著
定價金八圓　二千部限　特價金六圓八拾錢　送料新領土地方四十錢
挿畫百廿七面　三色版八面○玻璃版二十七面○寫眞版十九面　著色木版三十六面○凸版三十七面
安田稔裝幀　本文菊判四百五十六頁
新日本見物は著色木版及び玻璃版七十三面を始め無慮二百二十七面の繪畫を以て全卷の三分の一以上を占め我が新領土の巨匠たる石川寅治、中川八郎、中澤弘光諸氏の四畫伯の苦心の收獲より成れる一大美觀に配するに島村抱月氏の周到明快なる觀光記、巖谷小波氏の輕快洒脫なる觀光記、河東碧梧桐氏の俳味津々たる紀行、澁川玄耳氏の奇警犀利なる批評、稻葉君山氏の精透的確なる史論、前間恭作氏の精細該博なる考證、及び四畫伯の詩趣横溢せる藝術的印象を以てす、各々利害あり食卓ある生什にして、周到透徹一讀百讀、百讀猶ほ繰返して一々會心の妙境を呼ぶの成著に遇あらず。是れ諸君は我が操觚界の當今の雄。シカモ是れ其の筆の多きに及ぶは稀に見るの盛觀にして恰も隋珠を一串して錦囊に盛るが如し。誠に是れ出版界近時の痛快事といふべき也。今や國運隆昌を極め、新附の領土を題材とした本書の出版せらるゝ如き尤も好適の記念と謂ふべき也。
發兌　東京麴町區平河町五丁目　振替東京二八一七番　金尾文淵堂　特約　京城　振替二五七三　電話六八四二〇八六　大阪屋號

酸素療器

商標　登錄
オキシヘーラー
▽實驗例說明書贈呈△
▼オキシヘーラーの顯著なる事使用僅か五分間を出でずして三乃至五ミリの血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至三十ミリの活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て驗せば其調節の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる
▼靈妙なる磁氣應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强實となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也
▽特色(使用法簡易效力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要)
■正價金參拾五圓■
東京市牛込區築土町三十一番地
オキシヘーラー獎勵會
電話番町四六八九番・振替東京二七一二番

◇米國の諾否如何に關はらず出兵を決行す

某閣僚曰く、我對米回答を以て世間往々一種の提議と爲し兎角の議論を試むる者あれど右通牒の精神及文句は共に通告の形式にして日本は米國に對し其の意志を聲明せるに過ぎず從つて米國の諾否如何に關はらず日本は之を決行するの餘地あり政府に於ても亦其の決心なりと（東京特電）

◇講和提議は事實か　外務省方面の觀測

獨逸の西班牙を介してなせる講和提議説に就いては未だ其筋には情報に接せず、然も獨逸は從來度々斯の如き提議をなしたれば恐らく事實ならんも到底聯合國の一顧にも値せざるや勿論なる可く今後此種の報道は屢々來るならんと豫測せらると外務省方面にては語り居れり（東京特電）

◇過激派全動員

浦鹽の過激派は七月十七日全動員を開始したり（浦鹽電報）

◇新任駐露獨大使

獨逸政府は今回フルフレリッヒ氏を駐露大使に任命したるが同氏は近く赴任すべしと（倫敦電報）

◇佛軍七哩前進す

佛軍の前進は益々良好にして最近七哩に達せり（巴里電報）

◇駐支米領事會議

米國は駐支米國領事會議を北京に開く可く既に哈爾賓奉天の各領事は二十五日北京に向け出發せり（奉天電報）

◇支那海軍武官派遣

二十三日の閣議にて各國公使館に海軍武官を派遣するに決せるが右は日支軍事協約に基づき兩國海軍の聯絡を保つ爲め差し當り東京に支那海軍武官を駐在せしむるの急に基づけるものなり（北京特電）

◇上海邦人被害と英紙

上海マーキュリー紙は曰く上海に於る日本人の數に比例して日本人巡査の數は著るしく少數なり又日本人に對する決して支那人と混同すべからず他の各國人と對等ならざるべからず今回の事件につき十分に事の眞相を探究し單に警察の節制問題に止めず居留地の行政に關する全部に亘りて攻究せらるべき各方面より善後策を發見するの要あり今日聯盟國民は互に親睦を圖るの要あり蓋し敵國人は今回の如き問題の生ずる場合を利用するの恐れあればなりと論ぜり（長崎電報）

◇明年度豫算　全部回附は來月十日頃か

各省明年度豫算概算書は本月末迄に大藏省に回附の豫定なるも遲延の見込にて多分來月十日前後ならでは全部の出揃ひを見るに至らざる可く觀測され居れり（東京特電）

◇新聞局新設

政府は西伯利出兵に伴ない新聞檢閲を統一す可く臨時新聞局を設くるに決定せり（東京電報）

◇憲政會報告書の要領

出兵問題に對する憲政會の報告書要領に曰く『米國の提議を機とし別途の出兵を爲さんとする政府の計畫を破れるは帝國の爲め幸ひなり該問題は尙交渉案件に屬すれば一段落を見たる上我黨は責む可きを責め以て內外時局に善處せんとす（東京特電）

◇參謀總長辭任は事實　後任は何人？

上原參謀總長の辭任は最早既定の事實にして近く其發表を見るべく後任は川村元帥若くは一戶敎育總監ならんとの說あり（東京電報）

◇○千噸級船傭船內命

陸軍省より○千噸級船○隻の傭船の內命に接せる日本船主同盟會にては八月上旬迄に日本各港に歸航すべき約○萬噸の船舶を提示し當局に適當なる船舶の選拔を仰ぐ事となれり（東京特電）

◇東京金融狀況

東京市內に於ける金融は月末接近と共に眼先尻高歩調を辿りつゝあり（東京特電）

◇鮮滿鐵道軍需輸送會議

二十五日午前より滿鐵本社にて鮮滿鐵道軍需輸送に關する重要會議あり委員長川上理事以下庶務局長、交通、設計、運輸、庶務、營業の各課長及び朝鮮總督府鐵道局より和田事務官京城管理局より佐藤三郞氏出席せり（大連特電）

◇中村都督夫人

中村都督夫人は二十五日哈爾賓丸にて著連同日午後旅順に向へり（大連特電）

◎米國財團復歸　多分實現せん

紐育來電に依れば支那借款交渉に關係せる同國銀行家は其の企圖せる計畫の進行に關し政府より十二分の援助を與ふべしとの保證を得たりと云へるが右は米國銀行團が四國財團に復歸するの件に關するものにして米國は以前當時の六國銀行團に加入し居りしがウィルソン大統領の時代となりて支那の政府借款を以て其の內政に干渉し主權を危くするのみならず特殊の銀行團を保護して借款に應ぜしむるは平等の原則に反するものにして斯る借款團に加入し居るは建國の精神に背反すと稱し突然六國銀行團より脫退し大戰亂勃發後獨逸は敵國として除外せられ

△今日の四國團

となりたる次第なるが久しからずしてシームス・キヤリー商會は支那全國に亘りて一千數百哩の鐵道を敷設すべく大借款を締結して列國の物議を招き次いでリー・ヒッギンソン會社は支那政府より六百萬弗の國庫債券賣出の依賴を受けモルガン財團及び花旗銀行の手を經て之を賣却し其後市俄古大陸商業銀行は米貨五百萬弗の煙酒稅借款を締結したるが以上何れも實業借款の體裁を裝ひ或は表面之を外國借款と見なさず單に內國債を外國に賣出すの形式を取り以て一時を瞞着せんとしたるも煙酒借款の如く貴稅酒稅等の租稅を擔保とし其の使途も行政費なれば明かに政治借款と稱すべく從つて四國財團の强硬なる抗議を招きしが四國財團にても絕えず斯る問題を惹起するを好まず寧ろ米國を引入るべしとの說をなす者有力となりしが米國內に於て國際企業會社及モルガン會社等は財團脫退を遺憾とし種々

△政府に運動

する所あり最近一般に對支投資の趨勢著るしく國際企業會社と我興業銀行との共同引受に係る運河大借款成り更に西部銀行家中心となりて亞細亞銀行組合を組織するに至りたるを以て政府も是等諸團體を統一し四國財團と提携して對支投資に秩序ある活動をなさしむべしとの意見に傾きたるが四國財團に於ても勿論異議なき次第なれば米國の財團復歸は多分事實となりて現はるべし特に注目すべきは支那に於ける有らゆる大借款を取消し凡ての借款は英米佛日の銀行家間に分すべき事を主張し居れることにして我が西原某の著々對支借款を進行せしめつゝあるを見て米國は默視することは能はざるに至りたるものの如く萬事突飛なる遣口に出づる米國は支那政府をして向後一年間借款の必要なからしむる程度に於て鉅萬の借款を計畫し來るやも測られずと某外交通は語れり

◎滿蒙羊毛調查

▼拓殖調查

委員會に於て滿蒙綿羊改良に關する件を協議せりとは既報の如し滿蒙綿羊の改良に就ては既に見る所あり數年前より公主嶺農事試驗所に於てポッター種其の他米國優良種の輸入を爲し在來種との交配種を作り之が改良試驗を繼續中にして肥肉試驗の如きは既に完成に近く第一回第二回の交配種も出來採毛成績も甚だ良好にて在來種の產毛は一頭二封度半內外なるに第一回種に於ては二倍乃至二倍半を產し第三回種に至つては優に三倍以上を產するに至りたるのみならず

▼採毛の增加

と共に毛質の改良を爲し價格に於ても良好なる結果を收め得ること明確となり同所の試驗は八年度にて殆んど終了する豫定なるが現在の飼育綿羊は各種にて八百餘頭に達し居れり本試驗の成績に鑑みるに滿蒙綿羊の前途は實に有望なるものあり現在に於ける滿蒙綿羊は約二百萬頭と稱せられつゝあるも今後之等優良種の普及を爲し得ることせば現在の頭數に於ても採毛の點に於ては三倍以上の頭數を有すると同一結果を收め得べきのみならず毛質改良さるゝ爲め

▼羊毛の市價

昂騰と共にここに飼育頭數の增加を見るは當然の事にして本綿羊改良問題は單り工業原料供給地を得ると云ふのみならず彼我國民將來の共同的利益の爲めに緊要なる當面の大事業たるを失はず滿鐵も試驗の成績は既に確定に近きも之が普及に就ては私案なきにあらざれども僅少頭數の配布位にては何等効果もなく且つ國際的意味も有すれば政府の方針確定を待て改良種の配布其他積極的普及に努力すべしと

◎正米市場經過

創立總會は來月廿日頃

京城穀物商組合にては既記の如く正米取引市場設立に關する二十五日午後二時より共益社樓上に於て正米取引市場設立に關する創立委員會を開催せしが當日の出席者は內地人側より八名朝鮮人側より四名合計十二名直ちに議事に入り京城正米取引市場の位置を南米倉町齋藤倉庫に選定すること

▲創立總會を

來月二十日頃開催すべき事、創立總會の席上には各方面の有力者を招待すること、本組合の業務開始に先だちて理事役員の人選を必要とすること、本組合附屬仲立人の人員を十名乃至十五名とすべきこと、仲立人は總て朝鮮人とし其の職務上仲介したる取引に關しては總員連帶を以て責任を負ふものとすべきこと及び從來京城穀物商組合として存續し來りたる組合は新穀物商組合の組織を見創立總會を開催すべき曉に至らば當然

▲一時解散

すべき事及び其他の事項を決議する所ありたり而して正米取引市場即ち穀物商組合を南米倉町齋藤倉庫に設置すべきことは以前より當事者間に交渉ありしものにて愈々今般右齋藤倉庫を正米取引市場に使用すべく一切の契約纏まりたるが創立總會に對する當事者の口解として成るべく早く開催したき意響を有すれども目下同倉庫が使用中の爲め確實の期を期す[illegible]しつゝある關係上來月二十日頃を以て總會の開催を見る事となりたり

▲第五章以下

に於て本組合には組長一名副組長二名（內一名內地人、一名朝鮮人）及び評議員若干名を置き評議員中より內鮮人各一名の監事役を互選し總て役員は總會に於て組合員中より前記の順序により無記名投票を以て之を選擧し其の任期を一箇年とすること及び本組合の職員として理事一名、會計係一名、書記若干名、傭人若干名を置く事等を規定し尙ほ組合附屬仲立人に關しては仲立人は組合員の依託に應じ穀物及び肥料の賣買仲介を爲すものにして其百圓を組合に供託すべく其の職務上仲介したる取引に付總員連帶にて責任を負ふものなること等を規約せるものなり

◎地下埋設物調查

毎日十五車九州行毎日四車にて驛一日の發送噸扱二噸（米大豆を除く）迄なるが斤扱ひ貨物には制限を附せずと

京城府にては下水工事道路改修其他地下工事施設に際し豫め地下既埋設物即ち市話電信線、水道及び瓦斯管暗渠等の狀態を明かにし之に依る障害損失等を未然に防遏せんが爲め埋設物の管理者たる遞信局、京城電氣會社等より按分法に依る負擔金合計三千八百圓の醵金を以て府管內に於ける地下埋設物の位置を調查すべく計畫を爲し來月早々着手の筈なるが本年度內に完了の豫定なりと

◎辭令

今回左の通り辭令あり

十時雄次郎

勸業試驗所技師（三等）任總督府技師勸業課勤務を命す

◎鈴木長官歸任

東拓鈴木長官は豫定の如く二十六日夜九時南大門着の列車にて歸任せるが當日多數官民の出迎へありたり

▲人事消息

伊藤定造氏（海州課長）安東驛に出張中の所二十六日夜歸任

大阪より

▲印棉輸入減少

紡績聯合會調査本年一月乃至六月迄の印棉輸入高は累計五十九萬五千俵にして前年同期七十二萬三千俵に比し十二萬八千俵の減を示せりと云ふ迄もなく船舶關係もあれども印に相場昂騰の影響なるべく本月上旬の三品積出高は一萬三千俵なりと

▲米軍需品輸出

米國の軍需品輸出高は一九一五年十億四千萬圓より翌一六年八月末は十七億一千萬圓に達し同年末の豫測高は約六十億圓に達すべく同年一月現在の聯合國註文高は約八十億圓を計上せり而して一九一六年八月末迄の輸出中十億九千萬圓は火藥、兵器、硫酸、飛行機、線條等の軍需品を始め二億千八百萬圓は自動車、自動自轉車、科學的用器、石油等の軍需品にして四億圓は馬具、鐵道車輛、金屬材料、軌條、長短靴等なりと

▲昨今の砂糖界

出兵決定の噂に更に一層の氣配挫折を來し分蜜糖七月限十三圓八十五錢こし押し八九月限八十錢の手合せあり尙々暴落を豫想せしめ居れるが遂には十二圓五十錢の安値の夢想を實現するに至るべき模樣なりと云ふ迄もなく爪哇糖續々入荷に加へて大手筋十八萬噸、既約說に惑かされ居るものにして爪哇糖內地市價十六圓を唱へ居れり

▲工業藥品近況

工業藥品界殊に南洋方面に輸入を仰ぎつゝあるものは從來他品に比し安値なりしが近時著るしく反抗値を出し曹達灰苛性曹達松脂シケラク等は漸次高騰し就中シケラクは十圓方松脂類は產地五六圓方の高値を唱へ猶尻高の模樣又アルコール九十四パーセント物は本年二三月頃三十七圓見當が現在は百三十圓內外の突飛値を唱へ需要激增せるに加へて原料高の爲か一躍百七十五圓の高値にして向ひ高の氣配なり要するに此高値は出兵說に驚かされたるに非ず自然の關係なるものの如し

▲漢藥類近況

漢藥界は過般來より著るしく活氣を呈し居るが大黃上物二百圓內外山歸來三十圓見當を唱へ亞那利加方面に產地を持てる物は運送難等の關係上高騰は免れずアラビヤゴムの如き平常二十四五圓位が六十圓見當となり猶況上り殊にコロンボ及びランデは產地品拂底殆んど入荷なし相場も各店一定せず雖低落せるは肉豆蔲の四十五六圓が十圓內外に落せる位なり（大阪支局）

◎鮮鐵內地行滯貨

七月二十日現在迄の京城管理局調査に依る鮮鐵貨物輸送狀況を聞くに左の如し

▲在荷數量

（イ）當局線內各驛滯貨

	本局線發	九下關及
二月中申込のもの	九二一噸	〇噸
三月中同	一、九三五	〇
四月中同	二、〇五一	〇
五月中同	四、四九九	〇
六月中同	一〇、四〇三	二二六
七月中同	四、〇三七	六七七
計	二三、八五六	一、二〇八

（ロ）釜山棧橋滯貨　二、九二三（彥根以西六七九八）
（ハ）局線內輸送中のもの　一、二〇二一八

以上京城仁川方面より來るもの尙ほ京釜線及び山陽線に於ては米の源以東のもの鮮滿鐵道の發送力中本年の發二百五十噸釜山地發五十噸彥根以西に於ては鮮滿發のもの二百四十噸釜山地發のもの六十噸合計六百噸にして九州行に於ては鮮滿發百六十噸釜山地發四十噸にて合計二百噸なり而して當局線發送に對する制限は車扱ひ承認車數本州行

閑言私語

◎西部戰線の聯軍進擊は攻守一轉の觀あり
◎獨は此の埋合に歐露西伯利に策せん近時の對露政策に注意せよ
◎背東が知多にて捕へし獨探は伯林參謀本部よりの命令書を所持す
◎曰く聯合側の出兵遲からば將來獨の爲め西伯利を[illegible]
◎更に俘虜武裝して[illegible]
◎佛戰線は[illegible]
◎獨逸の銃劍は[illegible]
◎獨逸の戰爭の[illegible]
◎然も此の間[illegible]
◎府は互に政權の[illegible]
◎露國內政に干渉[illegible]
◎斯くて西伯利の[illegible]
◎聯合側は[illegible]
◎今や共敵たる[illegible]
◎斯くても浦鹽[illegible]
◎北滿は[illegible]
◎爲めに西伯利[illegible]
◎矛盾の歷史を[illegible]
◎須らく此の[illegible]
◎帝國の[illegible]
◎東方は[illegible]
◎鮮米は[illegible]
◎米價は[illegible]
◎之れ[illegible]

◎出兵と特產物

氣構へは其反動として斯く閑人氣に於て益々低落を來たすべしと觀測せ[illegible]
[illegible]なる迫せるものならんと觀測せる[illegible]

◎中部地方の天氣

旬末黃海中部に現はれたる低氣壓は平年度に達せりしが之に反し東岸は鴨綠江岸を除きて各地何れも二本旬中各地の雨量及び氣溫を示せば左の如し（總督府觀測所）
[illegible]

工事入札

一、京城元山線利川郡內道路修築工事
一、京畿道楊州郡內第一工區（暗渠工事）
右競爭入札ニ附ス詳細ハ七月二十七日以後ノ朝鮮總督府官報ニアリ
大正七年七月二十七日　京畿道

◎◎朝鮮名物◎◎
金剛山
京城本町電話二七七番　龜屋

最新刊
◎朝鮮大地圖
◎朝鮮法規提要
日鮮語會話
大阪屋號

寫眞
京日寫眞製版部

眼鏡專門
△弊堂特色（詳細定價表發行す）
レンズ精撰　京城南大門通二丁目二三番地
技術精巧
品位確實
價格低廉
親切勉强
宮川大學堂
電話二九五九番　振替京城壹武九番
（眼鏡製造工場子弟入用）

朝鮮法制研究會
縮刷 朝鮮法規提要
▲ポケット形一千餘頁
▲總クロース函入美本
▲定價二圓二十錢　送料八錢
▲特價一圓八十錢　八錢
（內容）
憲法、法例—憲法—法例—公式令
官規—官制—官吏—任用試驗—服務分限—懲戒—執務時間—休暇—禮式—恩給
賞恤、恩給
文書、附印、鑑
地方行政
社寺、宗教
兵事—徵兵—六週間現役—服役—徵兵令
教育—朝鮮教育令
衛生、警察
財務
土地、林野、河川
法務
產業
交通、電氣
賣捌所　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇番

割安ナル日淸紡績株
時價七拾圓位
大正五年最高値段八五、五〇（配當）上一〇六
大正六年　同　九三、七〇（同）下一〇六
大正七年上半期配當二割五分
昨年七月綿糸市價暴騰ノ際挫折以來高低常ナラズ波瀾萬丈シキモ同社製品ハ反テ需用ノ增加ス當春以來二回ニ亘リ三千二百ノ增錘ト新設トヲ完成シタルヲ以テ本年下半期ノ成績ニ値スルモノアルヲ豫想シ得ベク各位ニ會社株式ノ割安有利ナルコトヲ推奬スル所以ナリ
桐生屋
京城株式店
京城府永樂町二丁目
振替口座京城四七二六

三泰ペイント
製造元大連　株式會社三泰油房
內外國一手販賣　三井物產株式會社

水性三泰ペイントの特色及効用
一、三泰ペイントは塗布後乾燥非常に早く（三十分位にて手に附着することなし）耐水の特質を備へ雨も時日を經過するに從ひ益々其特質を發揮す故に普通室內は勿論浴室其他屋外露出面の塗布に耐ふ（但し斯る場合には室氣の流通を能くし少くとも五日間乾燥せしむるを要す）加之耐火性にも富む之れ他に比類なき所こす
一、三泰ペイントは土壁、セメント壁、煉瓦、石材、木材、金屬等如何なるものにも使用すること得
一、三泰ペイントの塗布能率は一鑵（五十封度入）少なくも四十五坪乃至五十坪に延ぶ之れ他に比類なき所こす
一、三泰ペイントは如何なる微溫をも悉く隱蔽し高尙優美なる色彩を呈し褪色剝脫の虞れなく時日を經過するに從ひ益々其凝結力を增し堅牢となる之れ他に比類なき所こす
一、三泰ペイントは時日の經過及寒熱によりて決して變質又は變色せざるのみならず却て貯藏久しきに亘れば其品質を優良にし凝結力及塗布能率を增す之れ他に比類なき所こす

三泰ペイント使用法及使用上の注意
一、三泰ペイントは其儘之を使用すべし一切の他物を混入すべからず若し混入する時は化學的變化を起し特質を失ふ故に混入の爲に生じたる品質の變化に付ては一切其責に任せず
一、三泰ペイントは使用の際先づ泡立たぬ樣徐々に攪拌すべし若し泡立つ場合には之を取除くべし
一、三泰ペイントは如何なる下地又は何種の塗料を塗りある下地にも敢て妨げなく其儘塗布すればよし
一、三泰ペイントは三回塗り決して剝落の恐れなきのみならず能く固著して益々下地を堅固ならしむ
一、三泰ペイントは殿塗り以て如何なる微溫をも隱蔽す
一、三泰ペイントの塗布中には水結するの虞れあるを以て溫暖の場所に貯藏すべし尤も一日氷結せるものは徐々に加熱し攪拌すれば舊に還り何等變化なし又使用殘の品は可成密封し置くを可こす
一、三泰ペイントは塗布に際し刷毛に少しく附けて廣く動かし使用すべし之延び方宜しきを以て也
一、三泰ペイントの使用法は右の外は普通ペイントと同樣也色合は如何なる色にても御注文に應ず

朝鮮全國一手販賣
三泰ペイント
ソーライト
タンタルス
京城旭町一丁目
小森商店
電話七四四番・振替京城一三七二番

新式灸術
開業一週年紀念半額
かつけ病には特に效あり
本町二丁目釘本商店前橫道坂下
伊藤灸術專門

土用うなぎ
京城旭町一丁目
電話二八一一五番
出雲屋

釜山館商店案內

酒精、燒酎
西貢米　碎米　大豆
砂糖　麥粉　雜貨
釜山本町
福榮商會
電話長一〇八

洋酒　鑵詰　糖粉
釜山　あづま商店
電話三五九番　振替京城三九番

乾物　糖粉　煙草　雜貨　卸問屋
釜山　山西商店

……ありては其出兵が發期されし如く大規模にあらざるものなりこの報に氣勢を挫かれて當初の高値……堆荷の増加は勢ひ相場の低落を來し鮮出の不振不需要期の關係は延……

……に朝鮮の東岸に暴風雨を起したる……が當時樺太千島方面に發達せる高氣壓の日本海に擴張する氣壓は甚だ優勢なりしを以て該低……に及び一時天候恢復に向ひたるが……滴の水を見ず其他の地も概ね二十五粍乃至六十粍内外にして何れも……乃至二十四度にして又東岸一帶は……二十度に達せず之を平年に比すれ……の三十一度之に亞げり

○血眼で繭の買出し

朝鮮の繭が渡り渡つてドシドシ内地へ 相場の激動で儲けたり損したり 損して得取れ式の不二興業の買入れ方針 盛んになつた朝鮮人の養蠶

毎年蠶業家が閑になると繭買ひが忙しくなる春蠶は既う出盛りを過ぎたがそれと引違ひに那々夏蠶が出始めたので市中の繭買入所は何れも雪のやうな繭の山を築いてゐる然も雨さへ降らねば

◆郡部の鮮人 が次から次へと繭の袋を背負つて賣込みに來るので買入所は中々多忙を極めるが斯うして買ひ集めた繭は仲買の手から會社へ會社から更に内地の製絲會社の手に渡る昨年迄は内地から態々渡つて來た繭買ひも少くなかつたが毎時も相場が好いので折角旅費を使つて來ても引合ず引合ふ迄も餘り儲けたものがないので漸次手をひくやうになり今年は内地からの繭買ひはホンの數へる程しかないと云ふ話し

◆相場は一頭 石百五六十圓と云ふ高値を稱へたこともあるがその後一旦下つて又持直し先月中頃には百二十圓に漕ぎ付けた高値の時代には仲買も儲けたもので一萬や二萬の小成金は箒で掃き捨る位出來たがこれでスッカリ有頂天になり得意の鼻を蠢かしてゐたのも束の間、その後の驟落で又元の歩に返り折角の儲けを吐き出て仕舞つたなぞと云ふ話しもある然し繭商賣は結局水商賣で意外の損失に青息吐息でゐてもその時々の

◆相場次第で は又儲かることもあるから損したからと云つて決して悲觀したものではない『此處がこの商賣の面白いところです』と繭買は言つてゐる昨今は先月中旬の相場にくらべると若干下落の方だからこの位ならば内地から買ひに來ても充分引合ふ相な京城に集まる繭は主として附近の産であるが仲買は時に江原道平安道あたり迄買出しに出懸けることがある種類は大抵又昔當局の奬勵に依つて朝鮮の蠶業は長足の進歩發達を遂げ繭の品質の如きも數年前にくらべると

◆大分向上し たとは云ふもの、まだまだ光澤も悪し斑目も尠く決して充分とは言はれないそれで品質の良いものと悪いものとではその間に非常なる價格の等差があるのだが鮮人仲買は品質の良否を見定める明がなくこれは凡そ此位の相場であらうと云つた調子で盲買ひに買込むものが多いその結果時には損することもあるが又時には大當りに當ることもあるので結局は何れも相當に儲けてゐるやうだ黃金町通の

◆不二興業拵 は内地の製絲會社から委託を受け頻に繭の買收に從事してゐるがこの不二興業あたりで現に實行してゐる取引方法は仲々面白いそれは『斑取り』と云つて例へば七圓五十錢のものは八圓にも買つて遣る代りに斑を勉强させ一斗の所は一斗一升も貰ふのである鳥渡考へると馬鹿馬鹿しいやうだがその實利益の多い遣り方で所謂『損して得を取る』筆法なのである近來は朝鮮人も心から養蠶の有望なるを悟り何れも身を入れて

◆斯業に出精 するやうになつたがそれもその筈養蠶は何しろ勝負が早く僅一箇月餘りの辛棒で金になるのだから無理もない話である朝鮮人に副業を奬勵する第一の必要條件は成る可く『早く金になること』でこれを度外視しては多くの場合効果がないとは某當局の談であるが此點になると養蠶は誠にお誂へ向き、これからこの養蠶は益々盛んになること、思はれるが刻下の急務は品質の改善と云ふことで幾ら養蠶が盛んになつても品質が悪くては何にもならぬと某當局は語つてゐる

○大尉から一躍少將

に次いで大將になつた傑物 米總司令官パ將軍のお手柄

日露戰爭當時日本軍に從つて二年間觀戰したことのある米國で有數の戰術家

外電の報ずる處に依れば米軍及佛軍はソアソンの南方攻撃に於て非常な成功を收めてゐると云ふ而して約百二十萬の

◆米軍を率ゐ る總司令官はパーシング將軍で米國が有する唯一の戰術家である、米國大使館附武官ボールドウイン少佐の談に依れば將軍は今年五十九歳で一八八六年にウエストポイント陸軍士官學校を卒業して少尉となり一九〇一年には

◆大尉に昇進 した其後大使館附武官として日本に駐在してゐたが日露戰爭の際には滿洲甫從軍武官として二年間滿洲の野に起臥し何れも良好なる成績を示した卅八年歸國の後陸軍大學に入學したが卒業と同時に大尉より一躍少將に累進した、此の異數な出世を見ても將軍が

◆如何に手腕 の大であるかゞ判る、先年ヒリッピンに駐劄した時に南部に起つた回敎徒の横暴を鎮壓した働きは有名な者である又メキシコ遠征隊司令長官としても拔群の功を表した、氣の毒な事には二年前桑港の大火の際夫人と

◆三八の子供 を失つて今は男の子一人しかない、將軍は昨年初めて大將になつたのであるが實に米國に於ける第五人目の大將であつて今や陸軍部内に於ては將軍の獨り舞臺である

米軍百卅萬の帥たる パーシング將軍

○衛生讀本を全國に無料配付

内務省衛生局の新しい企て

國民に衛生思想を涵養せしむる爲め内務省では東京衛生試驗所内に在る衛生參考館を人足繁き地に移し其の規模を擴張して衛生に參考となるべき模型繪畫等を陳列して衛生と云ふ事を

◆眼から訴へ る事となり其豫算十萬圓を四十一議會に

内務省衛生局長は語る『大戰以來世界各國は民族衛生と云ふ事に重きを措く事になつた我日本も戰爭の刺戟で國民の

◆保健に關す る研究が漸く發達して來たのは尊ぶべき事である、内務省の企てた衛生參考館の大擴張も其一で現在の場所では誰も入つて見るものがないので『モット便利な場所に之を移し陳列品もズット多くしよう』と云ふのである、それから衛生冊子の配布であるが獨逸のものは

◆有名な博士 達が協議の上に編纂したもので而も平易に面白く書かれてある爲め獨逸國内は如何なる寒村僻地と雖も此の書物を見ない所はない内務省の企ても有益で且つ面白い衛生書を作り之を全國に遍からしめ以て文字の上から衛生思想を注入しようと云ふのである』

網 ―二十六日午後漢江々畔にて

○ハーデー翁發狂す

原因は米海軍が軍籍なしと發表せる爲め

◇發狂したハーデー翁

米國水兵ハーデー翁は米國海軍より軍籍無しとの發表ありたる結果六月二十七日ポートランドの自邸にて突然發狂せりと（東京特電）

○南鮮の大暴風雨

▽――釜山方面電信電話の不通――△

◆内地への電信不通 但し松江線は通ずる◆

二十五日夜來南鮮沿岸一帶に大暴風雨襲來せることは既報の通りなるが二十六日に至り益々猛烈となり同日午後より釜山電信電話線に故障を生ずるに至れり尤も午後七時迄は斷續の間に通信するを得たれど七時過より釜山附近に大故障を生じたる爲め之と同時に大邱以南の通信、通話は全く杜絶するに至り從つて釜山下關間の海底線にも故障を生じたるによる内地電報は發著共に不通となりたり海底線はこの外元山松江線あるも右は傳送能力極めて薄弱なれば到底豫期の効果を擧げ得ざるべく自然延着を免れざるべし尚釜山附近に於る電信電話線の復舊は一に天候次第にて目下の所開通の見込立たずと

○恐ろしい豹の害

咬傷殺さる者續々

慶北の豹害は屢報ずる所ありしが本月十六日午後七時半頃奉化郡乃城面文丹里□再來方にては三女貴岩（七）が自宅附近にて隣家の幼兒と遊び居れる所に一頭の小豹現はれ同人を拉去したるを家人が追跡して辛くも取り返したるも重傷にて遂に翌十七日午後絶命せり又榮州郡山面石浦にても同日二名の幼兒が咬傷されしが一名は李炳獄の長男大基（三）と云ひ頭部に重傷を負はされ一名は鄭在京の孫大元（八）にて頭部に輕傷を負はされたり

○京城神社氏子當番幹事決定

内地人四名鮮人一名

大正七年度京城神社氏子當番區は第一區（永樂町新町以西）なるが區内大總代互選の結果左の如く就任したり

▲當番幹事長峯正三郎 ▲副幹事長田村義次郎 ▲會計幹事山崎龍藏 ▲會計副幹事塚崎由太郎 ▲庶務幹事李康弼

○盜まれ物が續々と發見される

好成績の贓物展覽

京城本町警察署にて先頃管内の質屋及び古物商より贓物の疑ひあるに至りし多數の物品を押收し同署に領置し構内に於て一般被害者の爲め見物の參觀を許したるに二十四日七十六名二十五日四十六名の來觀者ありしが此の内十數點は所有主に於て自己所有の物なること發見したりと

○松茸の走が出た

今年は早くて多い 相場は百目が一圓五十錢

本年は降雨多きより茸類の發生には此の上なしの氣候と見え清凉寺附近の山々にも昨今茸類の發生夥しく……の間には既に數日前より松茸發生し……はる、に至りしが走りの物とて最初百目二圓を唱へしも昨今にては低落し一圓五六十錢なり尚本年は降雨多きを以て奥地の松茸は夥しく發生を見るならんと（淮陽）

西鮮お伽旅日記（十二）

涙光生

〈新義と安東〉

◇財務主任の悲慘で一番は自轉車も賣り切れ、鈴木氏の配慮でからくも馬車に乘るを得たり、吉永道長官、……農業學校、……小學校長、……管理者、……日記者等に見送られてその厚意を謝しながら八時發車……の主旨を誤解せられてか金一封を……として贈られたれば堅くおことわりしも聞かれず改めて其のまゝ小學校の樂器購入の費に寄附すべく……預けたり

◇馬車は野中の一筋道を走り走りて……時發車し……少暇を得て……午後四時より……家庭講演を開催すべく到るも夫人を訪ふ、……案内狀まで……支局より……

◇漢江觀火大會延期

◇一般市民諸彦に翹望せられた雨社主催漢江觀火大會の催しも◇昨今の霖雨に强雨猶ほ未だ歇まず◇遺憾ながら廿七、八日の開催は斷然中止する事に致しました就ては觀覽區域を擴大し◇新龍山人道橋上より麻浦前面に至る迄延長◇決行期日は追つて發表致す可きが◇捲土重來再擧を企て申居候◇準備完成の當夜の觀火會は一段の快感を諸彦に與へん事を豫期致居候

京

一道丸　大人用　小兒用　腸胃全治
下痢・腹痛・特効劑
大阪 樋屋合資會社
旅行ョ 必要 ょ庭家

夏の胃
胃病 良藥 胃活
夏は誰も胃が弱り、水アタリ、食アタリ、食傷等の、吐き瀉し……其他の諸病を引起す恐れあり……胃の弱き者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて……日日の持藥……こし玉ふ事肝要なり
定價（胃活）一圓、……大阪……本舗……東京……

にきび　ペーリン
……吹出物……を白くする……内服……外用藥との二種あり
□内服藥は……
□外用は……
……
定價 外用 二十五錢より 内服 三十五錢より
發賣元 東京上野櫻木町 ……
各地化粧品藥店に販賣す

▽にせ物あり御注意△
りん病 はい毒
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會鮮本部
京城黃金町 ドラッグ商會支店

京日案内
……普通七拾錢……
▲子供入用 十五歳より十七歳迄のもの二名 南大門通二丁目 吉野商會
▲十四五歳小僧入用 旭町一丁目 ……電話一〇二五 山本メリヤス雜貨店
▲給仕募集 年齡十五六歳の者 希望者本人直接來談あれ 朝鮮商業銀行本町支店
▲代診及藥局生 看護婦及見習志望者募集す 希望者本人來院の事 川…病院
▲屯蕭賣物あり 御希望の御方は電話二二〇三番へ
◎採用 簿記係 一名 …… 南大門通り五丁目 ……穀物問屋 齋藤商店
◎女中入用 高給を與ふ至急本人來談あれ 黃金町三丁目 ……
看護婦及見習看護婦 三名募集 櫻井町一丁目 池上病院
礦物定量分析 京城……町……坂元分析所
恩給年金立替 ……西村商會
恩給年金立替 ……國江商會
店員募集 ……
◎新債券賣出し ……大日本債券會社
◎避暑 ……
舟遊び 漢江遊船倶樂部 龍山電話一〇番へ

鐵道局拂下品販賣
夏紺セル洋服 多數
夏紺小倉洋服 多數
冬物絨服 同外套
冬小倉服 毛皮 胴着
チョキ各種 多數
軍隊拂下品 一式
和洋衣服類 一式
新調洋服類
金子商店

洗濯石鹸角形專門
角形石鹸 元祖 浦本石鹸工場
京城南米倉町二八四番地 電話二二九四番 振替京城三三九番

金剛山寫眞帖
定價 金貳圓五拾錢
金剛一萬二千峰の絶勝中其の精を抽き粋を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一巻の美事なる畫帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂る金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べく時將に漸く盛夏に入らんとするとき之を繙かば京風腋下に湧くの概あるべく更に又た近時交通の便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絶好無二の東道者たるべし殊に製本は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接室等に備ふるには極めて適當なる畫帖なり
發賣所 京城太平通 京城日報社代理部

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城賛化堂

土用うなぎ 仕出仕候本月は特別大勉强致候間多少共電話二〇四六番へ御用命の程奉願上候
京城旭町一丁目（電話二〇四六番）
川魚御料理 會席仕出し 權平庵

中元御贈答品

發賣元 藤製菓合資會社

内科 外科 小兒科 花柳病 皮膚病
京城本町四丁目（元金井眼科醫院跡）
内田病院

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通壹丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
頭取 李 長 ……
專務取締役 韓 ……
支配人 石鎭衡
電話長六〇二番
支店 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所 釜山鍾路、……

妻の心 四十九

八の三　小林蹴月作　武内桂舟畫

『何だ俊やが乃公を迎ひに來た?』折角大陽氣の腰を折られた久三郎は、罪もない女中を叱き付けるやうに睨んで、念を押したのであつた。

『はい、確かに俊やがお迎ひに參つたとお取次して呉れと、斯樣に被仰つて御座います。』と、女中は、何處までも眞正直である。

『兎に角、甚麼急用かも知れませんから、此方へ上げてお遇ひ遊ばして御覽になつたら、如何です。』と、お芳は、側から口を挾んだ。

『居ると云つて了つたなら、既う已むを得んから遇つてやらう。此方へ通せ。』と、久三郎は不平たらだらではあるが、女中が氣が利かずに、居ると云つたので、もう否でも應でも隠れやうがない。

一座は、是が爲めにすつかり白けた。長唄のお師匠さんは、三味線を膝に抱へたなりで鳩が豆を喰ひ損なつたやうな顔を爲て居る。

やがて、女中に案内せられて、恐る恐る入つて來たのは、俊やであつた。

『突然にお邪魔を致しまして、何とも申譯が御座いません。』と、お俊は、遙か末座に兩手を支へながら辭儀する。

『うむ、お前は俊やだな。能く乃公が此家に居る事が分つたの。』

『旦那樣、隨分方々をお尋ね致しまして御座いますが、何うしても分りかねましたので、斷念めて歸らうと存じました處、バッタリ途中で櫻井の旦那樣にお目に兎りましたら、念の爲め招魂社裏の斯々と云ふ家へ行つて見ろと、教へて下さいましたので……。』

『なに、途中で櫻井に遇つたら、此處へ行けと教へた?はての、何ぼ櫻井の奴でも、此處ばかりは知つてる筈がないと思つたが、實に……實に油斷も隙もならん奴だな。まあ併し、櫻井の事は、別問題として、お前が乃公を迎ひに來た理由は……?』

『申上げるまでもなく、奥樣が昨晩以來……。』と、云ひかけてお俊は、お芳の方へ氣を措くやうに會釋しながら、

『昨晩以來、非常に御心配遊ばしまして、一睡も遊ばさずにお歸りをお待ち遊ばしてお在遊ばすんで御座います。』

『おいおい俊や、然うお前のやうに遊ばすで持切りでは、話が長くて不可よ、要するに奥がお前に命じて、首の根へ綱を付けても探して連れ歸つて來いと、斯う命じたんだらう。』

『はい……只今の内に、お歸り下さいますれば、まだ御隱居樣にも知れずに濟むから、旦那樣のお爲めにも萬事が都合好からうと云ふ奥樣のお考へらしいので御座います。』

『成程それで要領は分つた。要領は分つたが、俊や、乃公はまあ當分の內、町川家の閾を中へ跨ぐ事は爲たくないから、至急の電報や手紙や、乃至その他の來訪者があつたら、此方の方へ廻はして貰ひたいもんだね。あッは、は、は。』

『ヘッ、何こ仰せ遊ばすんで御座います。』

當面のお俊ばかりでなく、お芳もお師匠さんも、久三郎が挨拶の圓墨なのには、一時に呆れて眼と眼を見合はす。

『何こも仰せ遊ばしは爲ない。元來奥子の神經と行狀とが氣に喰はんから、踊りたくないと云つてころんだ。一昨夜こかは、彼の死に損ひ然たる身體を提げて、柳橋くんだりまでわざわざ主人公たる乃公の面へ泥を塗りにゆくかと思へば今日は又お前に命じて、宿なし犬でも探すやうな騷ぎを爲るし、而もその裏面には、何時も何時も彼の櫻井の奴が附纏はつて居る所を見ると、愈々物事が乃公の推測通りに違ひないのだ。歸る時節の來るまでは、此の雨が地から天へ倒まに降つても歸りはせんから、貴樣はさつさと歸つて、此の通りを譬子に傳言しろ。』

少しは酒も手傳つての事であらうが、久三郎は、意地になつてお俊を痛め付けるのである。

『旦那樣、そりや少し御無體のお話と申すもので……奥樣に限りましては、必ず必ず左樣な曲りくねつたお考へのお有り遊ばすお方でない事は……妾がお稱さい時から精く存じて居りますので……。』

『喧しいと云ふに。乃公の眼からは貴樣も同腹なんだ。』と、氣短かの久三郎は、猿臂の如き喉り聲と同時に、有合ふ豬口を追取り、『呀』と思ふ間にお俊の眉間へ……』

涼しいお菓子
―家庭でお試みなさい―

涼しい冷たい夏向の日本菓子と西洋菓子の製法を一種宛お樂みに申上げますお試しになつては如何

金玉糖(花入) 材料は寒天二本砂糖三百五十匁延平製花菓子三四十個及び色粉こに致します、製法は寒天二本を二三時間水に浸し引上げて搾り、鍋に四合程水を入れ其處へ寒天をちぎつて入れて煮ます能く煮溶けたならば一度毛篩又は木綿切にて漉し再び火にかけて掻き交ぜながら煮詰め御飯杓子でたらして見て絲を引くやうになつたら鍋を下し上に浮いた灰汁は取り八九寸大の流し箱に二分位の厚さに流し其上に延平花形(拵へ方は後に)又は吹き寄せの樣なものを程よく並べ少し固まるのを待つて殘りの寒天汁を靜かに流し込みます、全く冷ね固まつてから金箆で固まりをはがして拔き出し花と花との間へ庖丁を入れて切ります偖前に述べた延平ですが之は砂糖百匁に水少々を加へてネットリとさせ葛粉十匁を加へて能く交ぜ合せて捏ね粉をふつた板の上で薄く延ばして適宜の形に切ります色を付けるならば砂糖のうちに色を付けて置きます

プランマンジ 材料はコンスターチ大匙一杯、牛乳一合、砂糖大匙一杯、ココア又はチヨコレートと致します御承知の通りコンスターチは白い美しい澱粉の樣なもので原料は玉蜀黍だと申します製方はコンスターチを小鍋に入れ水少量を加へて溶かし砂糖を加へ又は牛乳を加へて火にかけ攪交ぜながら煮ます充分滑らかに煮たらゼリー型(ブリキ製の冷し型)に垂らし入れ型を水につけ冷して固めますゼリー型のない時はコップ又は湯呑を代用してもよいのです垂らし入れる時に材料少量を殘して置き之にココア又はチヨコレートを加へ更に少量の砂糖と牛乳又は水を加へて少しゆるめの物を拵へ固まつたブムンマンジを皿に拔き出た時上からソースの體裁に注ぎかけて出ますチヨコレートもココアもない時は食料紅粉を極めて薄くといて注ぎ掛けます

耳と水泳
子供の注意

暑期の水泳が固より子供に悪い筈はない、只此水泳からして子供が悪い耳の病に罹ることがあるから用心しなければならぬ▲之は水が自然耳に流れ込むからで水も普通の淡水より塩分を含んだ水が浸入した場合に耳を犯すことが多いのです病氣の種類は外聽道炎、急性中耳炎が主なるもので二つ共恐るべき病氣です▲直接右の病氣の主因にならないまでも誘因となり得ることは勿論です又場合に依つては耳の後の所が腐つて來る病氣に罹ることもあります耳の中に入つた水を出さうとして強く鼓膜を刺戟したのが誘因となるのです▲されば水に入つて後に耳鳴がしたり耳が多少痛むなと思つたら早く醫者の手當を受けなくてはならぬは勿論其場合には水泳を中止しなくてはなりません▲又人間の皮膚には吸收力がありますから汚い水で泳いでは宜くないばかりでなく水酒りなどの場合には餘程注意しても多少の水を飲みますから注意しなくてはならない

日報俳壇

屋根の穂草

隠栖や氣の澄む朝や白牡丹　山柴坊
田に入るゝ樋や萍や土用東風　同
炊烟の若葉を繞る微風哉　同
花柿や無慾に落る塀の壁　同
五月雨や夜さる耳に樋漏る音　同
牧場に高鳴く山羊や五月晴　同
短夜や何を鳴く窓の竹　同
蟬鳴くや樹の間に洩れる光り海　同
荒れ畑に人語しやく豊桑哉　同
不圖發ち蝶の行方や夏の露　同
飯解きて蟹棚擴る四月哉　同
若葉戰ぐ窓に吐く嗽ひ樂哉　同
露に濕る石に動かぬ虫涼し　花翁
雨後の風涼しき夜校繕ひ居たる　同
岸に揚げし朽ちたる舟や飛ぶ螢　同
卵の花やレールに朝の雨しきる　同
佛燈の瞬く朝の若葉かな　同
嗽ぐ眼に聳つや若葉山　箔木
雀群れ落つ若葉に明き一字哉　同
い伸びし屋根の穂草や五月晴　同
夜の物の清々し宿や月見草　石農
母娘語る一穂の灯や鳴く水鶏　同
涼に更けし一人に屋根の月すれし　蓉村
焚火して漁す子等や明易き　岩上

新刊紹介(到着順)

▲傳說(創刊號)　記錄傳說及口碑傳說を蒐集したる雜誌にて歴史研究家の好參考料たる可し(三十錢東京本郷森川町日本傳說學會)

▲史談文藝(二の七)　三位卿司、柳澤松蔭谷の目選(孤村)背業の凧(花外)平野二郎(殿亭)バイロンの海賊と毛剛九右衛門(木村鷹太郎)其外黒板博士外諸氏の豐太閤評・自得院の大間答(樂齋)平重衡の最期(曉碇)凱國の爲に(紫村)元吉原奇觀(可東)等(三十錢東京神田美土代町一ノ二七共社)

▲青年文壇(七月號)　朝鮮副王の孝(小說)雜感、牛島の旅(小品)文藝時評現代作家論、婦女作から現在まで、小說壇の近狀、新時代の作家と共の文章赤いインクの外交秘境等(十八錢東京牛込神樂町一の一東亞堂雜誌部)

讀者の領分

▲○○生に告ぐ、凡そ世の中は己れの身を曲げ言語を低うして人に臨まば誰一人として容ばざるものなく以て身分の身分や資格と比較し益々敬遠の念ないたくに至るは人間として自然のしからしむる所と思ふ然るにやれ眼上の者とかやれ有權者とかで無暗矢鱈に威張り散らすは反つて威嚴を人格を失ひ悪感を持たす原因たらずんばあらず嗚呼君よ最少し頭を持ち直して言動を愼めよ出世が出來ぬぞ先は君は(コンゴ)以下のわからず漢だ大に反省を要す日本人が皆君の様なものなら遂に言語道斷だよ(新テエーピー生)

▲僕は過る二十日の夜行にて平壌の方へ旅行せる者なるが南大門驛より男女七八名一隊が寢臺車に乘込んだが列車が出るか出ない内から飲む喰ふさわぐ終りにはもの凄に大はしやぎさう〳〵トランプなやり出す始末同乘者迷惑さるなく同乘の人々は非常に迷惑したり後でボーイさんに聞いて見たら某大會社の支配人が京城の醫者なんかを連れて五龍背とかの温泉行と分かつた其御客の名前は預つて置くが女共の名は政菊、丸子、明月等であつた(列車ボーイ)

▲今度愈々仁川海水浴場が開かれたさうですね私も是非行きたいと思つて居ますけれども一人でさびしいから行きませんが是非行きたいです如何でしよう今度の日曜日にでも貴社の御催で團體を造り海水浴にやつて呉ませんでしようか(テイナツ)

▲昨年三月內地の女子職業學校を卒業せる本年十九歲の娘ですが何か最確實にて相當なる職業求めたし御存の方はお知らせ下さいませ又鑑察的にでも又は個人的方面にでも眞面目な有益な諸物御存の人は書名と價格とをお知らせ下さいませ(京城なる婦)

▲女學校生徒の研究な試み樣ではありませんか吾人は交通頻繁なる現今の位置に膨大なる醜形な樹へ何等風致を添ふる無く一日も早く撤廢すべきものと思ふ(鹿非俗員)

▲愛樂生に告ぐ小生中古『オルガン』を所有すれ共讓り申して宜敷御希望の方は住所氏名を本欄にて承知したし左すれば小生居所氏名は『へかき』にて御通知すべし(非樂生)

皮黴科
皮膚病 黴毒 淋病 膀胱 生殖器 泌尿器
入院隨意(診察夜九時迄)
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元二丁目)
佐藤醫院(電話一七一三番)

品質本位
人參エキス チンキ
其他諸製劑
京城南大門通二丁目
朝鮮化學製藥株式會社
電話一三一六番

◎中旬對外貿易

七月中旬の對外貿易は輸出四千四百四十六萬一千圓輸入五千一萬八[illegible]衣等に於て聊か增加せる羽二重綿織物其他の減額多きに因り一割二分を減少し輸入は米、智利硝石及[illegible]を孰れも增加せり而して一月以降の累計は輸出九億九千百八十四萬三千圓にして五千七百三十六萬[illegible]

[illegible]米國に於ける銅の公定相場を眞に廿四仙半より廿六仙に引上げたるを以て輸敵に於てもこが運賃こ[illegible]現米國公定相場は本年八月中旬迄繼續せしむる豫定なれば其更變期に至り更に幾分の値上を行ふなら[illegible]強硬なるもの、如し(東京)

◎城津經濟狀況

城津 前月末內地在荷の潤澤に生產過剩を唱へ販路の梗塞に依る生產力はりと雖も製紐の混沌に各種日用品の消耗力衰へ此の方面に對する資金は兎角固定し勝にて回收迅速なら[illegible]

◎暴風警報(廿六日午後三時發)

▲發文裂風雨の恐れあり▲氣壓中心濟州島附近▲示度七三〇粍▲方向北[illegible]

▲嘖々の好評……非常の人氣

桃谷研究試驗所創製

美顔洗粉

女學校へお出での方はどなたも御存じ……

▲牛乳や鷄卵は何故美しくなるのによいのでせうか?それは牛乳や鷄卵には純良な蛋白質と中性脂肪とを含んでゐるからです。此事は女學校へお出での令孃方は、どなたも御存知の事で厶います。美顔洗粉は種々の原料を一々嚴密に檢べて品質の良い原料を用ひてある上、殊にこの純良な蛋白質と中性脂肪とを丁度適度に含むやうに數種の特殊原料を加減して用ひてありますから牛乳や鷄卵を使ふのと變らない効果がある事に成りますのです。この點は石鹼と違つた所であります。

御內意により謹製したる洗粉

大正四年五月上旬、或る貴賓の御係から、佛蘭西製の或る洗粉とクリームとの見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製奉進せよとの有難き御內意が傳へられました。當試驗所にては此上なき光榮に感激し、技師一同飽くまでも深重に綿密に研究を積み同七月下旬を以て創製品を上納致しました處、二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ爾來常に御命を拜して居りました其二品の中の洗粉を、先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此の美顔洗粉であります。斯ういふ品ですから一度美顔洗粉を御用ひになりました方は、必ず其品質效用に御滿足遊ばされ、引續き愛用せられますので、此の洗粉は今大變な人氣になつて居ります。

製美顔白粉、美顔水、美顔ユーマー、白色美顔水
ロ美顔洗粉、美顔石鹼、美顔クリーム

發賣元
東京市日本橋區本町四丁目(電話本局二三〇・一六二六・一六二七番)
東京市麴町區有樂町一丁目(電話新橋一六一三・二六三九番)實驗部
大阪市西區靱南通二丁目(電話土佐堀六四七・六四八番)

桃谷順天館

日本郵船仁川出帆

◎大連、天津牛莊行
相模丸　七月　日
酒田丸　七月　日
×高砂丸　七月廿九日　船客御斷
仁川海岸町二丁目(電話十番)　堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

大連直行(關東都督府命令船)
共同丸　七月廿四日後入港　七月廿五日前出港
朝鮮鐵道主要驛にて清島行定期船接續聯帶運輸取扱
阿波共同汽船株式會社出張所　本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店　野口商會　春日町(電話二四四七番)
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　南大門(電二七六〇、八二二)　河村運送店

朝鮮郵船出帆

天候其他ノ事情ニ依リ發着日時變更スル場合有之ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ

●敦賀行　清津發城津元山經由
平壤丸　七月　日　清津　七月廿七日　元山發
●浦汐行　大阪發門司釜山元山城津經由
平安丸　七月　日　釜山　七月　日　元山發
●雄基行　關門發釜山各港經由
×印江原道寄港セズ
×京畿丸　七月　日　釜山　七月廿七日　元山發
咸鏡丸　八月一日　釜山　八月三日　元山發
●元山雄基線　元山起點各港經由往復
穩城丸　七月廿五日　元山發
●大阪行　浦汐發清津城津元山釜山關門神戶經由
越後丸　七月廿八日　元山　七月三十日　釜山發
●金剛山遊覽便　元山發長箭石亭經由
長箭行月六回但自六月至十月五ケ月間
穩城丸　七月廿九日　元山發
●欝陵島行　釜山發浦項及各港經由
孜德丸　七月三十日　釜山發
●釜山浦項線　釜山發長生浦方魚津丸
江陵丸　襄陽丸　毎日釜山浦港發
●濟州島行　釜山長承浦麗水巨文島經由
昌平丸　七月廿八日　釜山發
●濟州島行　東廻ハ所安島經由　西廻ハ島秋子島經由
東廻　慶興丸　七月廿九日
西廻　公州丸　七月　日　木浦發
●釜山麗水線
海州丸　巨濟丸　統營丸　毎日釜山麗水發
●木浦麗水線　麗水ニテ釜山行接續
順天丸　七月廿八日　木浦發(以下三日目毎ニ木浦發)
●多島海行　木浦發多島海各島行
慶興丸　八月二日　木浦發
●木浦行　仁川發各地經由
全州丸　七月廿九日　仁川發
●海州行　仁川發江華島荷相島經由
錦江丸　毎日一回　仁川海州發
●鎭南浦行　仁川發各港寄港
南陽丸
香州丸　八月三日　仁川發
●青島行　仁川發各港經由
山陽丸　七月　日　仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便有
本社　京城南大門通　電話二一一、九五二、三二三
釜山支店　佐藤町　出張所
元山出張所　海岸通　堀回漕部
仁川代理店　山野回漕部
木浦代理店
京城荷客取扱店　京城南大門驛前　松原運送店　電話長二七〇番
其他各寄港地に荷客取扱店あり

大阪商船汽船出帆

神戶、大阪行(仁川出帆)
△友康丸　七月　日　後五時出
群山大阪行
×安東丸　月　日　正午出
西湖津新浦城津淸津行(元山出帆)
須磨丸　八月一日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
宮島丸　七月　日　後九時出
上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸　八月十二日　前四時出
基隆丸　七月　日　後六時出

內地各港出帆主要航路
歐洲行一年四回　北米行毎月一回
南米行一年四回　孟買行毎月一回
濠洲行毎月一回　南洋行毎月一回

御注意
◎外航所屬航路遠洋航路ヲ除クノ外ハ時間ノ乘船切符發賣ハ五分前ヲ以テ締切リ申候
◎朝鮮鐵道及南滿洲鐵道ト連絡切符發賣仕候
×印ハ一等客室無之△印ハ一等客室御斷申候

大阪商船株式會社
京城支店　京城本町一丁目　電話二二番
仁川支店　仁川海岸町　電話二〇五番
京城内國通運株式會社　電話[illegible]
京城鮮支旅館　電話[illegible]
仁川朝鮮旅館[illegible]